

# 血漿分画製剤に関する調査 調査結果報告書

2016.5

株式会社日本能率協会総合研究所



	page
1. はじめに	2
1.1. 本プロジェクトの目的と概要	3
2. 回答者属性	4
2.1. 一般生活者調査編	5
2.2. 血漿分画製剤使用経験者調査編	8
3. 総評	11
4. サマリー	14
5. 詳細分析	20
Q1. 献血への関心	21
Q2. 過去の献血回数	22
Q3. 血漿分画製剤の認知	23
Q4. 認知している血漿分画製剤	24
Q5-1. 輸血用血液製剤の製法認知	25
Q5-2. 血漿分画製剤の製法認知	26
Q6-1. 輸血用血液製剤の目的認知	27
Q6-2. 血漿分画製剤の目的認知	28
Q7-1. 輸血用血液製剤での治療経験	29
Q7-2. 血漿分画製剤での治療経験	30
Q8. 血漿分画製剤安全性イメージ	31
Q9. 血漿分画製剤治療時のインフォームド・コンセントの有無	32
Q10. インフォームド・コンセントの内容理解度	33
Q11. インフォームド・コンセントの説明時間	34
Q12. インフォームド・コンセント時の説明資料や同意書の有無	35
Q13. インフォームド・コンセントの内容で記憶にあること	36
Q14. インフォームド・コンセント後の内容調査	37
Q15. インフォームド・コンセント後内容調査した理由	38
Q16. インフォームド・コンセントの満足度	39
Q18. インフォームド・コンセントで説明して欲しい項目	40
Q19. インフォームド・コンセントにかけて欲しい時間	41
Q20-1. 血漿分画製剤の安全性対策理解度	42
Q20-2. 血漿分画製剤独自の安全性対策理解度	43
Q21. 血漿分画製剤を必要とする難病患者への理解度	44
Q22. 血漿分画製剤の感染リスクの理解度	45
Q23. 血漿分画製剤を生涯使用する患者についての認知	46
Q24. インフォームド・コンセント説明用資料有用度	47
Q25-1. 血漿分画製剤に望むこと(安全性への取組み継続)	48
Q25-2. 血漿分画製剤に望むこと(治療への貢献)	49
Q26. 安全な血漿分画製剤の安定供給の重要性	50
Q27. 血漿分画製剤についての情報取得欲求	51
6. 調査票	52

# 1.はじめに

# 1.1.本プロジェクトの目的と概要

本プロジェクトの目的と概要は、以下の通りです。

## 目的

- ① 血漿分画製剤を開発・供給することの意義について、一般生活者の評価を把握すること。
- ② インフォームド・コンセントについての実態を把握すること。

## 調査概要

### 調査1：一般生活者調査

- 調査対象者
  - 全国に居住する20歳以上の男女
- 調査手法
  - インターネット調査
- 本調査回収サンプル数
  - 2,000サンプル
  - ※ 20代／30代／40代／50代／60代以上の男女10区分で、200サンプルずつ均等割付け
- 調査実施時期
  - 2015／10／27(火)～ 2015／11／6(金)

### 調査2：血漿分画製剤使用経験者調査

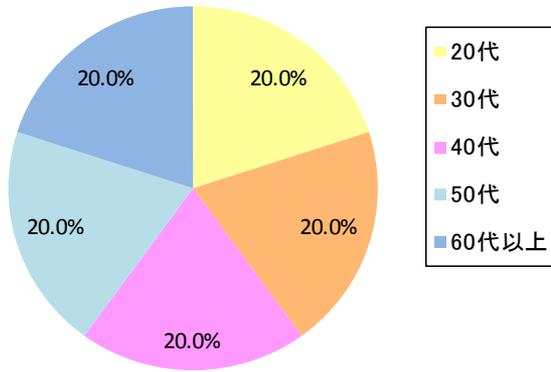
- 調査対象者
  - 血漿分画製剤を使用したことがある方
- 調査手法
  - インターネット調査
- 本調査回収サンプル数
  - 500サンプル
- 調査実施時期
  - 2015／11／6(金)～ 2015／11／20(金)

※ 調査1と調査2の調査項目は同じです。

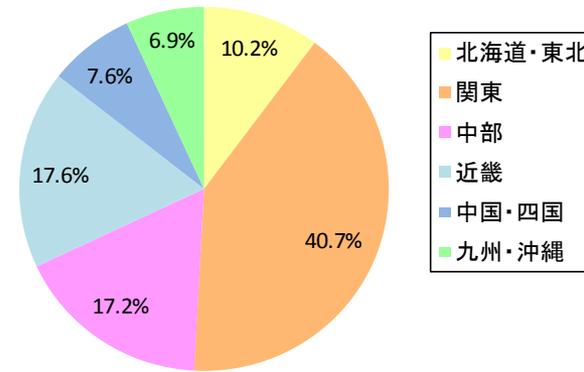
## 2.回答者属性

# 2.1.回答者属性(一般生活者調査編)[1/3]

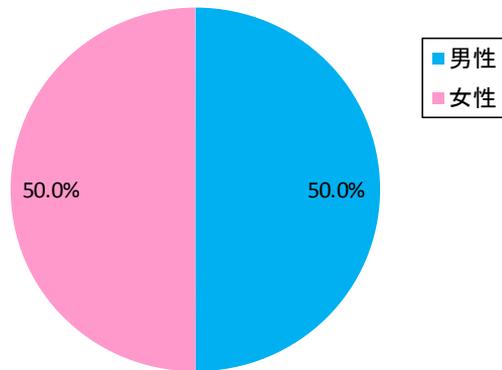
●年齢 (n=2,000)



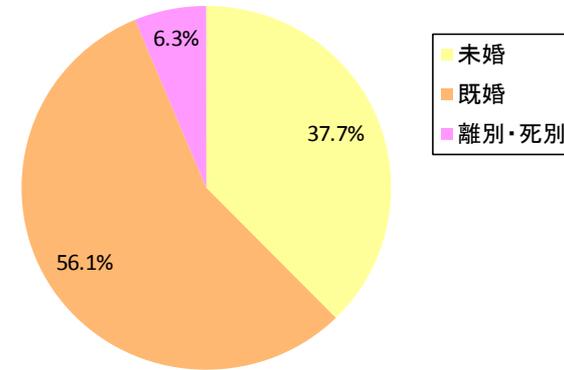
●居住地 (n=2,000)



●性別 (n=2,000)

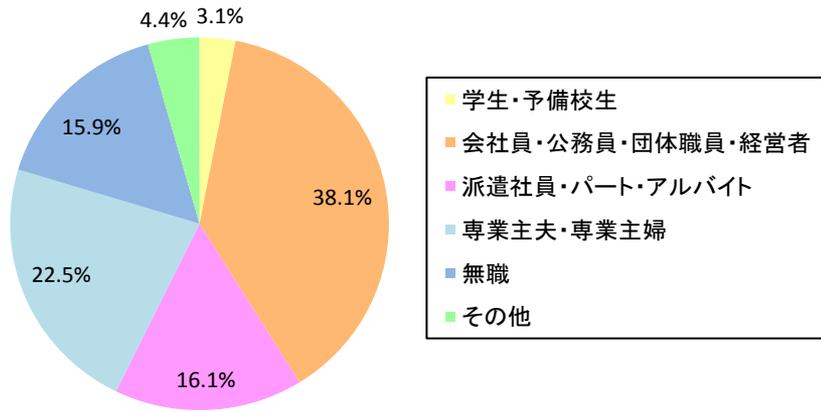


●婚姻状況 (n=2,000)

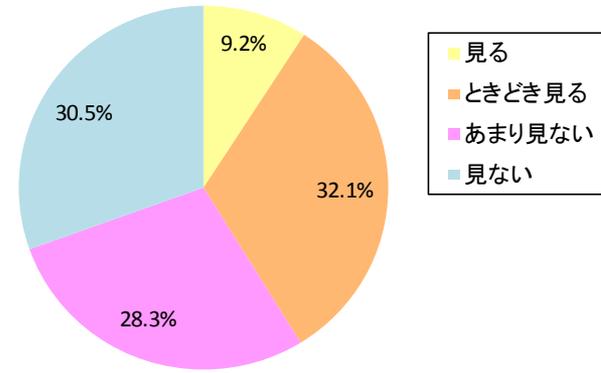


## 2.1.回答者属性(一般生活者調査編)[2/3]

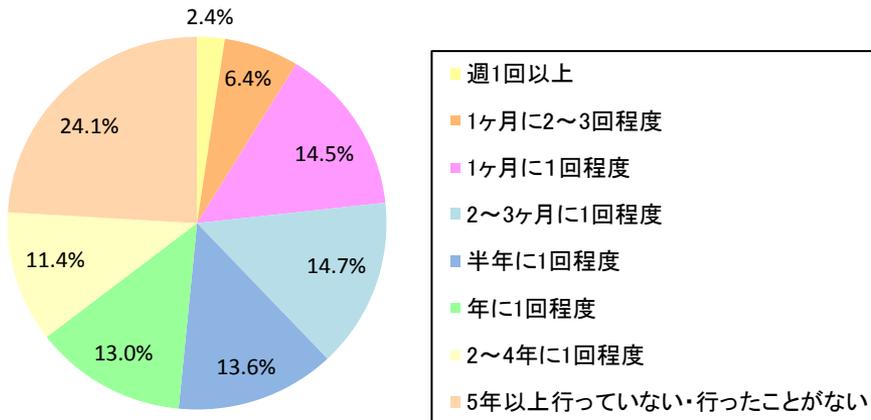
### ●職業 (n=2,000)



### ●待合室にある治療に関する冊子の閲覧頻度 (n=2,000)

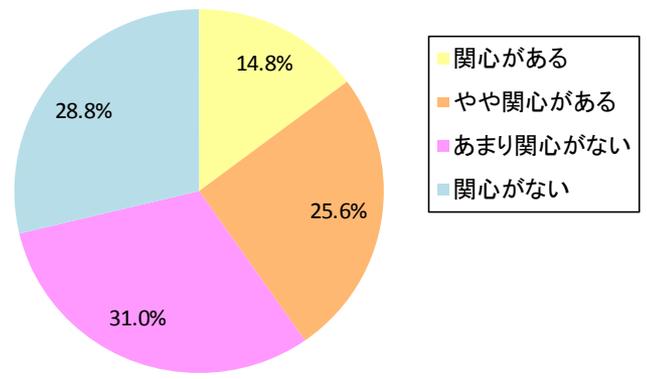


### ●病院での受診頻度(n=2,000)

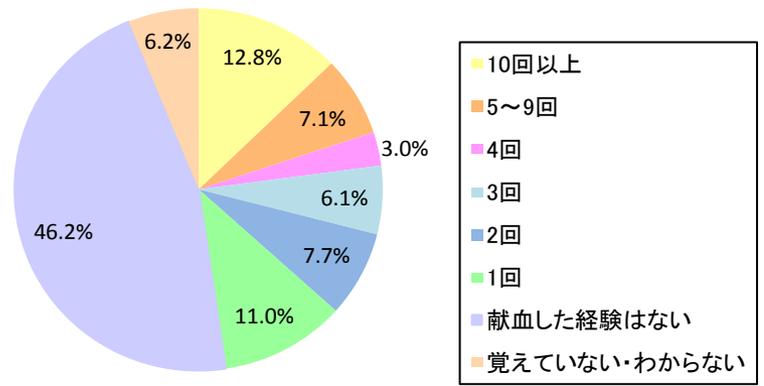


# 2.1.回答者属性(一般生活者調査編)[3/3]

●献血への関心 (n=2,000)

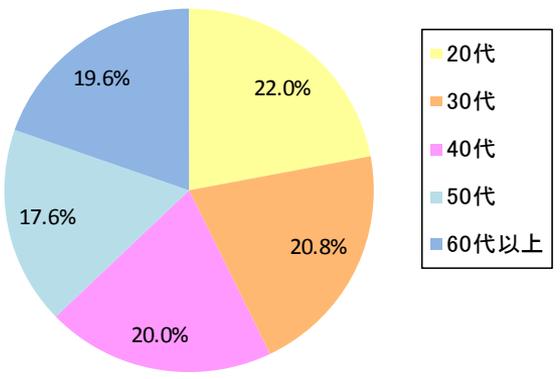


●献血経験 (n=2,000)

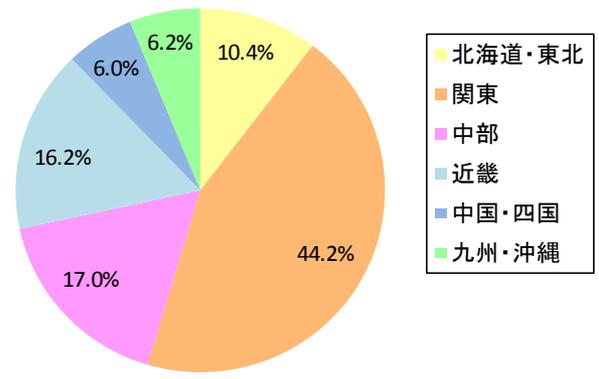


# 2.2.回答者属性(血漿分画製剤使用経験者調査編)[1/3]

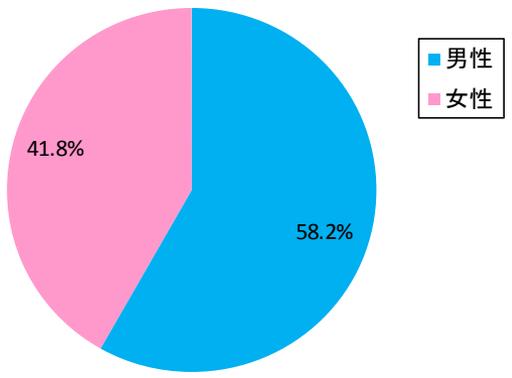
●年齢 (n=500)



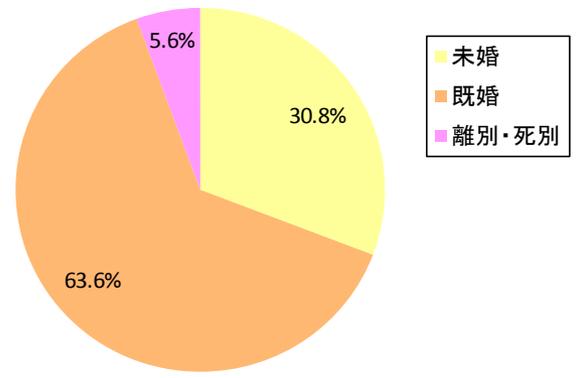
●居住地 (n=500)



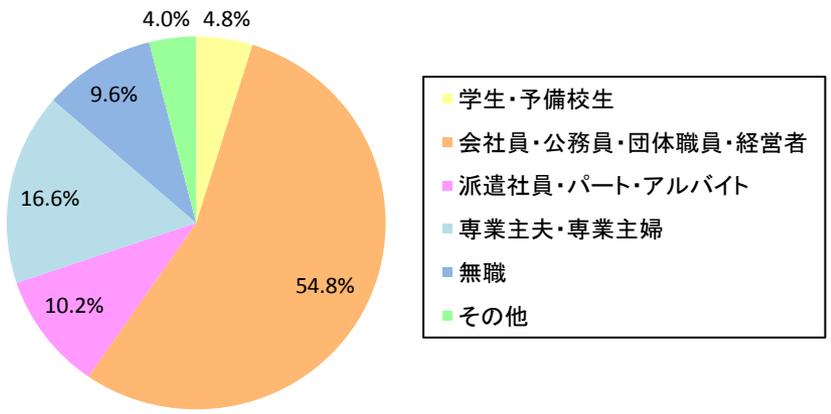
●性別(n=500)



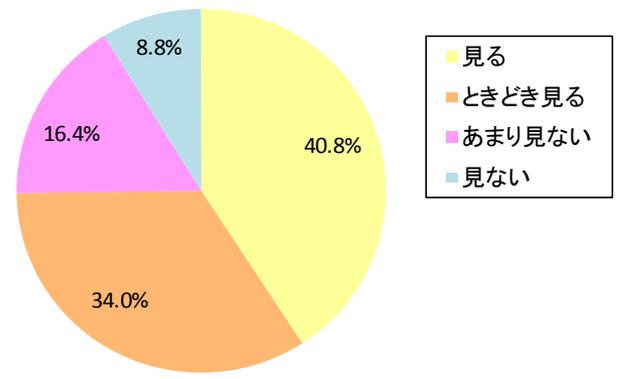
●婚姻状況(n=500)



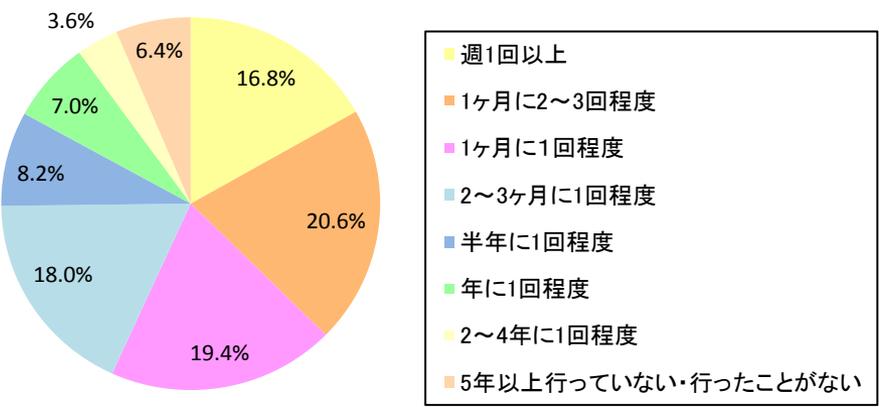
●職業 (n=500)



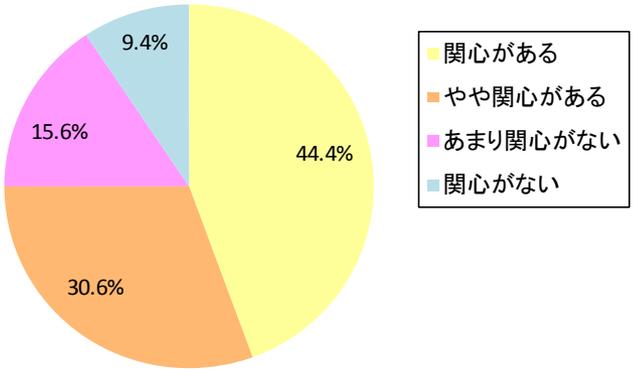
●待合室にある治療に関する冊子の閲覧頻度 (n=500)



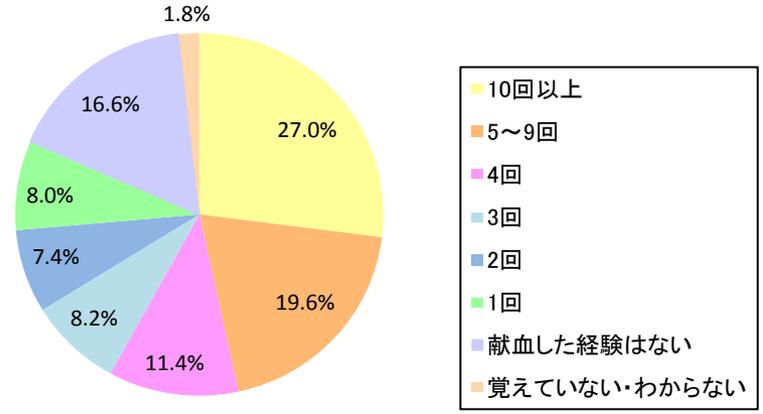
●病院での受診頻度(n=500)



●献血への関心 (n=500)



●献血経験 (n=500)



### 3.総評

目的に対して、どのような結果になったのかをまとめたものが以下の通りです。

## 目的

- ① 血漿分画製剤を開発・供給することの意義について、一般生活者の評価を把握すること。

## 結果

血漿分画製剤の認知	16.5%
血漿分画製剤の治療経験	2.0%
生涯使用する患者の認知	15.1%
安全性への取組み認知	77.7%
治療貢献の要望	76.0%
安全性の重要性	87.7%
情報欲求度	39.2%

安全な血漿分画製剤が安定して必要な人々に供給されることが多くの人に望まれ続けていることがうかがえる。

## 目的

② インフォームド・コンセントについての実態を把握すること。

## 結果

ICを受けたと感じた人	60.0%			
平均説明時間	7.0分	希望説明時間	一般生活者: 11.5分	血漿分画製剤使用経験者: 12.3分
内容理解度	92.0%			
資料の呈示	説明資料があった: 73.0%	同意書があった: 64.0%		
満足度	71.7%			
記憶にある内容	投与が必要な理由: 61.7%	血漿分画製剤とは: 58.7%	ウイルス感染症の安全性: 45.3%	
ICを受けた後の行動	インターネットで調べた: 49.0%	書籍・雑誌で調べた: 38.3%	医学書で調べた: 32.0%	
行動の理由	もっと知りたかったから: 69.3%	不安だったから: 34.2%	理解できなかったから: 32.5%	
説明して欲しい項目 (一般生活者)	投与が必要な理由: 40.7%	ウイルス感染症の安全性: 40.3%	使用しなかった場合の不利益: 36.3%	
説明して欲しい項目 (血漿分画製剤使用経験者)	投与が必要な理由: 54.2%	血漿分画製剤とは: 47.2%	ウイルス感染症の安全性: 44.0%	

インフォームド・コンセントを受けたと感じた人は6割、平均説明時間は7.0分で、希望説明時間は約12分であった。理解度は9割と高いものの、満足度は7割であった。血漿分画製剤とはどのような医薬品なのかという基本的な情報から時間をかけて説明し、安心感を与えていくことの重要性がうかがえる。

## 4.サマリー

# 4.サマリー [1/5]

## 今回調査の対象者について

### 一般生活者調査編

- 全国に居住する20歳以上の一般生活者2,000名(性年代別に均等割付)を対象に調査を実施し、以下のような特徴がみられた。
- 病院での受診頻度については、「5年以上行っていない、行ったことがない」が24.1%と最も高く、次いで「2～3ヶ月に1回程度」が14.7%、「1ヶ月に1回程度」が14.5%であった。なお、約5割が半年に1回程度以上病院で受診しており、約2割が1ヶ月に1回程度以上病院での受診をしている結果であった。
- 病院やクリニックの待合室に置いてある疾患や治療に関するパンフレットの閲覧有無については、「見る」と「ときどき見る」を合計した”見る計”でみると、41.3%が見ると回答した。
- 献血への関心については、「関心がある」と「やや関心がある」の“関心計”でみると、40.4%が関心があると回答した。
- 献血をした経験については、「献血をした経験はない」が46.2%と最も高いが、献血をした経験がある方は約半数程度であった。献血経験がある方の中では、「10回以上」が最も高く12.8%、次いで「1回」が11.0%で二極化であった。

### 血漿分画製剤使用経験者調査編

- 全国に居住する血漿分画製剤使用経験者500名を対象に調査を実施し、以下のような特徴がみられた。
- 病院での受診頻度については、「1ヶ月に2～3回程度」が20.6%と最も高く、次いで「1ヶ月に1回程度」が19.4%、「2～3ヶ月に1回程度」が18.0%であった。なお、5割以上が1ヶ月に1回以上病院での受診をしている結果であった。
- 病院やクリニックの待合室に置いてある疾患や治療に関するパンフレットの閲覧有無については、「見る」と「ときどき見る」を合計した”見る計”でみると、74.8%が見ると回答した。一般生活者と比較すると、約1.8倍の人が見ているという結果であった。
- 献血への関心については、「関心がある」と「やや関心がある」の“関心計”でみると、75.0%が関心があると回答した。一般生活者と比較すると、約1.8倍の人が関心があるという結果であった。
- 献血をした経験については、「10回以上」が27.0%と最も高く、次いで「5～9回」が19.6%であった。献血をした経験がある方は8割以上であった。

## 4. サマリー [2/5]

### 血漿分画製剤の認知について

#### 一般生活者調査編

- 血漿分画製剤という医薬品の認知度は、16.5%であった。
- 認知している血漿分画製剤をたずねたところ、「わからない」が84.7%で最も高く、次いで「血液凝固因子製剤」9.9%、「人血清アルブミン製剤」8.5%であった。
- 資料を呈示した上での、血漿分画製剤の精製方法の認知をたずねたところ、「知っている」+「ある程度知っている」の“知っている計”で見ると、認知度は14.8%であり、輸血用血液製剤の精製方法の認知度17.5%とほぼ変わらない結果であった。
- 血漿分画製剤の目的についてたずねたところ、「知らない」が65.0%であった。「知っている」+「ある程度知っている」の“知っている計”で見ると、15.5%が輸血用血液製剤の目的を認知していた。輸血用血液製剤の目的の認知度が23.8%よりもやや知られていない結果であった。

血漿分画製剤の認知度、精製方法、目的についての認知度はそれぞれ2割に満たず、一般生活者にとってはあまりなじみのない医薬品であることがうかがえる。

### 血漿分画製剤の治療について

#### 一般生活者調査編

- 自身の血漿分画製剤での治療経験は2.0%であり、輸血用血液製剤での治療経験3.3%と同様に自身の治療経験がない人がほとんどであった。
- 血漿分画製剤を必要とする難病患者がいることの認知をたずねたところ、一般生活者では15.1%が認知していた。

#### 血漿分画製剤使用経験者調査編

- 血漿分画製剤を必要とする難病患者がいることの認知をたずねたところ、血漿分画製剤使用経験者は72.0%が認知していた。

自身の血漿分画製剤での治療経験は2.0%とほとんどおらず、また難病患者がいることの認知についても、血漿分画製剤使用経験者の認知度が72.0%であったのに対して、一般生活者の認知は15.1%であった。このことから、一定の情報を発信しつつ、ユーザーとなる方に安心感を与えるような情報は信が必要だとうかがえる。

# 4.サマリー [3/5]

## インフォームド・コンセントについて

### 血漿分画製剤使用経験者調査編

- 血漿分画製剤治療時のインフォームド・コンセントの有無についてたずねたところ、60.0%がインフォームド・コンセントを受けたと回答した。
- インフォームド・コンセントの内容理解についてたずねたところ、「理解できた」+「まあ理解できた」の“理解計”で見ると、92.0%が理解できたと回答した。
- インフォームド・コンセントの説明時間をたずねたところ、「5分～10分未満」が最も高かった。全体の平均説明時間は7.0分であった。
- インフォームド・コンセントの時の説明資料や同意書の有無についてたずねたところ、「説明の資料があった」のは全体の73.0%、「同意書があった」のは64.0%であった。
- インフォームド・コンセントの内容で記憶にあることをたずねたところ、「血漿分画製剤の投与が必要な理由」が最も高く、ついで「血漿分画製剤とは」、「ウイルス感染症の伝播に対する安全性」であった。
- インフォームド・コンセント後に行った調査は「インターネットで調べた」、「病気・治療に関する書籍・雑誌で調べた」、「医学書で調べた」が上位3項目であった。
- インフォームド・コンセント後に調査を行った理由は「もっと知りたかったから」が約7割と最も高く、ついで「不安だったから」、「理解できなかったから」であった。
- インフォームド・コンセントの満足度をたずねたところ、「満足した」+「どちらかという満足した」の“満足計”で見ると、71.7%が満足と回答した。

### 一般生活者調査編

- インフォームド・コンセントで説明して欲しい項目をたずねたところ、上位項目が「血漿分画製剤の投与が必要な理由」、「ウイルス感染症の伝播に対する安全性」、「血漿分画製剤を使用しなかった場合の不利益」であった。
- インフォームド・コンセントにかけて欲しい時間は、平均11.5分であった。

### 血漿分画製剤使用経験者調査編

- インフォームド・コンセントで説明して欲しい項目をたずねたところ、上位項目が「血漿分画製剤の投与が必要な理由」、「血漿分画製剤とは」、「ウイルス感染症の伝播に対する安全性」であった。一般生活者と比較すると、血漿分画製剤使用経験者は、「血漿分画製剤とは」「血漿分画製剤の投与が必要な理由」が10ポイント以上高かった。
- インフォームド・コンセントにかけて欲しい時間は、平均12.3分であった。

インフォームド・コンセントを受けたと感じた人は6割で、その平均説明時間は7分で、約9割の方が理解できたと回答している実態が明らかになった。インフォームド・コンセントの満足度は、7割程度で理解度の高さと比較すると満足度がやや低いとうかがえる。血漿分画製剤使用経験者はインフォームド・コンセント後に「もっと知りたかった」という理由で自身でインターネットや医学書、書籍、雑誌を活用し調べている。インフォームド・コンセントにかけて欲しい平均時間が約12分と実際の説明時間よりも5分長く、説明して欲しい項目として「血漿分画製剤とは」「血漿分画製剤の投与が必要な理由」が高く、また血漿分画製剤という医薬品の認知は2割に満たないほどであった。一般生活者にとってなじみのない医薬品ということを考慮すると、血漿分画製剤とはどのような医薬品なのかという基本的な情報から時間をかけて説明し安心感を与えていくことの重要性がうかがえる。

## 資料内容の理解度について

### 一般生活者調査編

- 資料を呈示した上での、血漿分画製剤の安全性対策の理解をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の“理解計”で見ると、58.1%が理解できたと回答した。
- 資料を呈示した上での、血漿分画製剤独自の安全性対策の理解をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の“理解計”で見ると、54.8%が理解できたと回答した。
- 資料を呈示した上での、血漿分画製剤を必要とする難病患者への理解をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の“理解計”で見ると、62.8%が理解できたと回答した。
- 資料を呈示した上での、血漿分画製剤の感染リスクの理解をたずねたところ、73.6%が理解できたと回答した。
- 資料を呈示した上での、インフォームド・コンセント説明用資料の有用度をたずねたところ、67.6%が理解を助けたと回答した。

### 血漿分画製剤使用経験者調査編

- 資料を呈示した上での、血漿分画製剤の安全性対策の理解をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の“理解計”で見ると、89.4%が理解できたと回答した。
- 資料を呈示した上での、血漿分画製剤独自の安全性対策の理解をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の“理解計”で見ると、86.4%が理解できたと回答した。
- 資料を呈示した上での、血漿分画製剤を必要とする難病患者への理解をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の“理解計”で見ると、89.6%が理解できたと回答した。
- 資料を呈示した上での、血漿分画製剤の感染リスクの理解をたずねたところ、91.2%が理解できたと回答した。
- 資料を呈示した上での、インフォームド・コンセント説明用資料の有用度をたずねたところ、87.8%が理解を助けたと回答した。

一般生活者の資料内容の理解は、5～7割程度と血漿分画製剤使用経験者の8～9割程度と比較すると低かった。特に資料②(血漿分画製剤の安全性対策)の理解度は5割台と低かった。血漿分画製剤という医薬品の認知は2割に満たないほど一般生活者にとってなじみのない医薬品で、「血漿分画製剤とは」「血漿分画製剤の投与が必要な理由」が欲しい情報として上位にあがっていることから、血漿分画製剤とはどのような医薬品なのかという基本的な情報から説明するとよいのではないかと考えられる。

## 4. サマリー [5/5]

### 今後の血漿分画製剤に望むこと について

#### 一般生活者調査編

- 血漿分画製剤の安全性への取組みを継続してほしいかをたずねたところ、「そう思う」+「ややそう思う」の“そう思う計”で見ると、77.7%がそう思うと回答した。
- 血漿分画製剤に対して、治療への貢献を継続してほしいかをたずねたところ、「そう思う」+「ややそう思う」の“そう思う計”で見ると、76.0%がそう思うと回答した。
- 安全な血漿分画製剤の安定供給の重要性をたずねたところ、「必要だと思う」+「やや必要だと思う」の“必要計”で見ると、87.7%が必要と回答した。
- 血漿分画製剤についてもっと知りたいかをたずねたところ、39.2%がもっと知りたいと回答した。

安全な血漿分画製剤が安定して必要な人々に供給されることが多くの人に望まれ続けていることが、明らかになった。

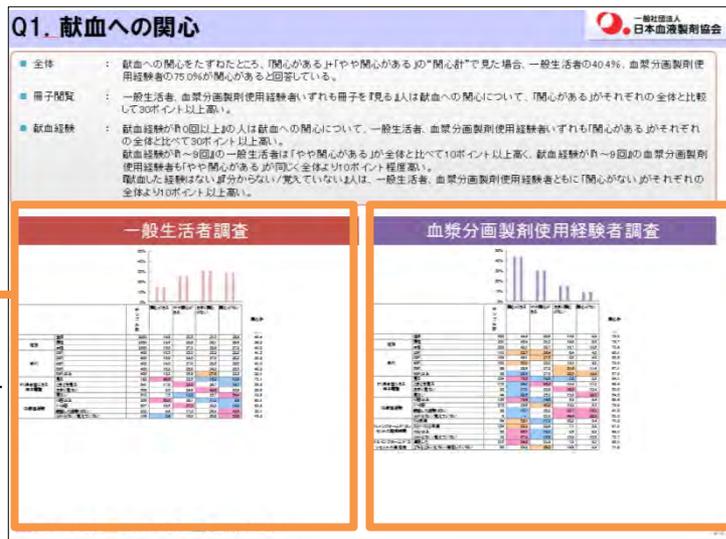
#### 血漿分画製剤使用経験者調査編

- 血漿分画製剤の安全性への取組みを継続してほしいかをたずねたところ、「そう思う」+「ややそう思う」の“そう思う計”で見ると、88.2%がそう思うと回答した。一般生活者と比較すると約10ポイント高い結果であった。
- 血漿分画製剤に対して、治療への貢献を継続してほしいかをたずねたところ、「そう思う」+「ややそう思う」の“そう思う計”で見ると、85.6%がそう思うと回答した。一般生活者と比較すると約10ポイント高い結果であった。
- 安全な血漿分画製剤の安定供給の重要性をたずねたところ、「必要だと思う」+「やや必要だと思う」の“必要計”で見ると、93.4%が必要と回答した。一般生活者と比較すると約5ポイント高い結果であった。
- 血漿分画製剤についてもっと知りたいかをたずねたところ、66.8%がもっと知りたいと回答した。一般生活者と比較すると約30ポイント高い結果であった。

一般生活者と比較すると血漿分画製剤使用経験者は、安全な血漿分画製剤が安定して共有されることをより望んでいることが明らかになった。また血漿分画製剤についてもっと知りたいという人が一般生活者で約4割、血漿分画製剤使用経験者で約7割おり、情報の必要性もうかがえた。

## 報告書の見方

- 以下の属性ごとに結果を把握できるように集計しています。
  - 性別/年代/待合室にある冊子の閲覧頻度/献血への関心/献血経験
- 全体より10ポイント以上高い結果は 、5ポイント以上高い結果は 、10ポイント以上低い結果は  で表示しています。
- 一般生活者調査の結果と血漿分画製剤使用経験者調査の結果を比較できるように、それぞれの調査結果を並べて掲載しています。



一般生活者  
調査結果

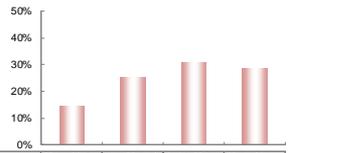
血漿分画製剤  
使用経験者  
調査結果

## 5.詳細分析

# Q1. 献血への関心

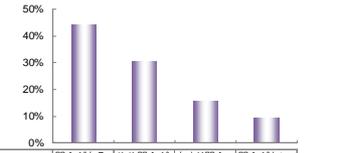
- 全体 : 献血への関心をたずねたところ、「関心がある」+「やや関心がある」の“関心計”で見た場合、一般生活者の40.4%、血漿分画製剤使用経験者の75.0%が関心があると回答している。
- 冊子閲覧 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者いずれも冊子を『見る』人は献血への関心について、「関心がある」がそれぞれの全体と比較して30ポイント以上高い。
- 献血経験 : 献血経験が『10回以上』の人は献血への関心について、一般生活者、血漿分画製剤使用経験者いずれも「関心がある」がそれぞれの全体と比べて30ポイント以上高い。  
 献血経験が『1～9回』の一般生活者は「やや関心がある」が全体と比べて10ポイント以上高く、献血経験が『1～9回』の血漿分画製剤使用経験者も「やや関心がある」が同じく全体より10ポイント程度高い。  
 『献血した経験はない』『分からない/覚えていない』人は、一般生活者、血漿分画製剤使用経験者ともに「関心がない」がそれぞれの全体より10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	関心計
全体	2,000	14.8	25.6	31.0	28.8	40.4
性別	男性	14.5	23.8	32.1	29.6	38.3
	女性	15.0	27.3	29.8	27.9	42.3
年代	20代	16.5	25.0	25.3	33.3	41.5
	30代	15.8	24.0	27.0	33.3	39.8
	40代	14.0	27.0	30.5	28.5	41.0
	50代	15.3	26.0	34.3	25.5	40.3
	60代以上	12.3	26.8	37.8	23.3	39.1
F7.待合室にある冊子閲覧	見る	48.6	23.5	16.9	10.9	72.1
	ときどき見る	17.0	39.6	28.7	14.7	56.6
	あまり見ない	9.0	24.6	43.6	22.8	33.6
	見ない	7.5	12.3	25.7	54.4	19.8
Q2.献血経験	10回以上	52.0	28.1	11.3	8.6	80.1
	1～9回	16.5	37.0	32.3	14.2	53.5
	献血した経験はない	4.6	17.3	35.4	42.9	22.1
	分からない/覚えていない	2.4	16.8	30.6	50.0	19.3

## 血漿分画製剤使用経験者調査

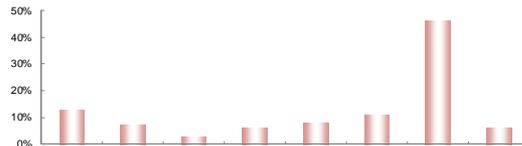


	サンプル数	関心がある	やや関心がある	あまり関心がない	関心がない	関心計
全体	500	44.4	30.6	15.6	9.4	75.0
性別	男性	29.1	45.4	31.3	14.8	8.6
	女性	20.9	43.1	29.7	16.7	10.5
年代	20代	11.0	52.7	36.4	8.4	4.5
	30代	10.4	48.1	37.5	9.6	4.8
	40代	10.0	50.0	23.0	19.0	8.0
	50代	8.8	39.8	27.3	21.6	11.4
	60代以上	9.8	29.6	27.8	23.5	19.4
F7.待合室にある冊子閲覧	見る	75.5	18.6	3.9	2.0	94.1
	ときどき見る	24.1	45.3	19.4	11.2	69.4
	あまり見ない	17.1	32.9	36.6	13.4	50.0
	見ない	4.4	29.5	25.0	41.9	29.5
Q2.献血経験	10回以上	74.8	14.8	5.9	4.4	89.6
	1～9回	39.6	49.3	13.9	6.2	79.9
	献血した経験はない	15.7	25.3	33.7	25.3	41.0
	分からない/覚えていない	-	22.2	44.4	33.3	22.2
Q11.インフォームド・コンセントの説明時間	5分未満	53.1	17.2	20.3	9.4	70.3
	5分～10分未満	53.2	33.8	7.1	5.8	87.0
	10分以上	65.1	19.0	9.5	6.3	84.1
	分からない/覚えていない	57.9	15.8	15.8	10.5	73.7
Q16.インフォームド・コンセントの満足度	満足した	64.2	21.9	7.9	6.0	86.1
	どちらともいえない/満足していない	35.3	36.5	18.8	9.4	71.8

# Q2. 過去の献血回数

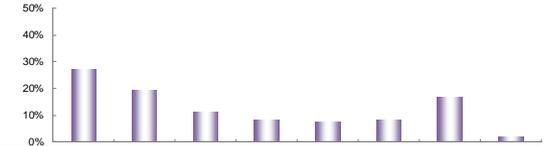
- 全体 : 過去の献血回数をたずねたところ、一般生活者では「献血した経験はない」が最多回答で46.2%、血漿分画製剤使用経験者では「10回以上」が最多で27.0%であった。
- 年代 : 『20代』で比較すると、一般生活者の6割以上が「献血した経験はない」と回答している。一方、『20代』の血漿分画製剤使用経験者の最多回答は「5～9回」の26.4%で、「献血した経験はない」は13.6%となっている。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人では、一般生活者の22.4%、血漿分画製剤使用経験者の37.3%が、献血経験が「10回以上」と回答しており、それぞれの全体と比較すると、ともに10ポイント程度高い。  
一方で、冊子を『見ない』一般生活者の56.6%は「献血した経験はない」と答え、全体より10ポイント以上高くなっている。

## 一般生活者調査



	サンプル数	10回以上	5～9回	4回	3回	2回	1回	献血した経験はない	覚えていない/わからない	
全体	2,000	12.8	7.1	3.0	6.1	7.7	11.0	46.2	6.2	
性別	男性	1,000	16.3	8.4	2.6	5.7	9.2	11.2	39.6	7.0
	女性	1,000	9.3	5.8	3.4	6.5	6.1	10.8	52.7	5.4
年代	20代	400	5.8	4.5	2.5	4.5	5.8	9.8	80.8	6.5
	30代	400	10.3	6.2	1.8	4.3	5.3	9.3	56.0	7.0
	40代	400	13.5	9.0	2.8	6.3	7.5	11.0	43.3	6.8
	50代	400	16.5	9.5	3.8	7.0	8.8	14.0	36.0	4.5
	60代以上	400	18.0	6.3	4.3	8.5	11.0	11.0	34.8	6.3
F7 待合室にある冊子閲覧	見る	183	22.4	12.0	7.7	10.9	4.9	10.4	30.1	1.6
	ときどき見る	641	14.2	7.5	3.9	8.4	11.1	12.5	38.7	3.7
	あまり見ない	566	11.3	6.2	2.7	6.2	9.2	11.3	48.6	4.6
見ない	610	9.8	6.1	1.0	2.1	3.4	9.3	56.6	11.6	
Q1 献血への関心	関心がある	295	45.1	13.9	4.7	8.1	5.4	6.8	14.9	1.0
	やや関心がある	511	14.1	12.5	5.9	10.2	10.8	11.2	31.8	4.1
	あまり関心がない	619	4.7	4.4	2.1	5.7	9.2	15.0	52.8	6.1
関心がない	575	3.8	1.7	0.5	1.9	4.3	8.7	68.2	10.8	

## 血漿分画製剤使用経験者調査

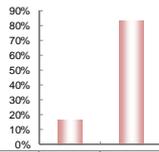


	サンプル数	10回以上	5～9回	4回	3回	2回	1回	献血した経験はない	覚えていない/わからない	
全体	500	27.0	19.6	11.4	8.2	7.4	8.0	16.6	1.8	
性別	男性	291	29.9	21.3	12.0	10.3	7.6	6.9	10.7	1.4
	女性	209	23.0	17.2	10.5	5.3	7.2	9.6	24.9	2.4
年代	20代	110	18.2	26.4	14.5	9.1	7.3	10.0	13.6	0.9
	30代	104	27.9	22.1	14.4	8.7	4.8	7.7	12.5	1.9
	40代	100	24.0	22.0	12.0	10.0	6.0	7.0	18.0	1.0
	50代	88	36.4	12.5	8.0	5.7	8.0	6.8	21.6	1.1
	60代以上	98	30.6	13.3	7.1	7.1	11.2	8.2	18.4	4.1
F7 待合室にある冊子閲覧	見る	204	37.3	27.9	12.3	7.8	4.4	2.9	6.9	0.5
	ときどき見る	170	16.5	17.1	12.9	10.6	8.2	9.4	24.1	1.2
	あまり見ない	82	20.7	11.0	8.5	7.3	12.2	13.4	23.2	3.7
見ない	44	31.8	6.8	6.8	2.3	9.1	15.9	20.5	6.8	
Q1 献血への関心	関心がある	222	45.5	27.5	8.6	5.4	3.6	3.6	5.9	-
	やや関心がある	153	13.1	19.0	15.6	14.4	9.2	9.8	13.7	1.3
	あまり関心がない	78	10.3	9.0	9.0	6.4	12.8	11.5	35.9	5.1
関心がない	47	12.8	2.1	2.1	4.3	10.6	17.0	44.7	6.4	
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間	5分未満	64	37.5	15.6	10.9	4.7	4.7	7.8	15.6	3.1
	5分～10分未満	154	24.0	31.8	18.2	4.5	3.9	6.5	9.7	1.3
	10分以上	63	44.4	28.6	3.2	6.3	3.2	3.2	9.5	1.6
分からない/覚えていない	19	31.6	5.3	5.3	5.3	5.3	15.8	31.6	-	
Q16 インフォームド・コンセントの満足度	満足した	215	34.4	30.2	11.2	3.7	2.8	6.5	10.2	0.9
	どちらともいえない/満足していない	85	24.7	15.3	16.5	8.2	7.1	7.1	17.8	3.5

# Q3. 血漿分画製剤の認知

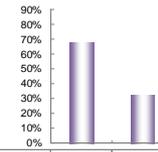
- 全体 : 血漿分画製剤という医薬品を「聞いたことがある」との回答率は、一般生活者で16.5%、血漿分画製剤使用経験者では67.6%であった。
- 冊子閲覧 : 冊子を見る頻度が高いほど、血漿分画製剤の認知度が高くなる傾向が認められた。一般生活者では、冊子を『見る』人の41.0%は「聞いたことがある」と回答し、冊子を『見る』血漿分画製剤使用経験者では「聞いたことがある」が90.2%に上った。いずれもそれぞれの全体と比べ20ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血への関心が高いほど、血漿分画製剤の認知度が高くなる傾向が認められた。一般生活者では、献血への『関心がある』と答えた人の38.0%は「聞いたことがある」と回答した。血漿分画製剤使用経験者では、献血への『関心がある』と答えた人の83.8%が「聞いたことがある」と回答した。いずれもそれぞれの全体と比較して10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	聞いたことがある	聞いたことがない
全体	2,000	16.5	83.5
性別			
男性	1,000	17.3	82.7
女性	1,000	15.7	84.3
年代			
20代	400	15.3	84.8
30代	400	14.5	85.5
40代	400	11.8	88.2
50代	400	18.5	81.5
60代以上	400	22.5	77.5
F7 待合室にある冊子閲覧			
見る	183	41.0	59.0
ときどき見る	641	20.7	79.3
あまり見ない	566	13.8	86.2
見ない	610	7.2	92.8
Q1 献血への関心			
関心がある	295	38.0	62.0
やや関心がある	511	20.5	79.5
あまり関心がない	619	8.4	91.6
関心がない	575	10.6	89.4
Q2 献血経験			
10回以上	256	35.5	64.5
1~9回	697	21.1	78.9
献血した経験はない	923	8.7	91.3
分からない/覚えていない	124	9.7	90.3

## 血漿分画製剤使用経験者調査

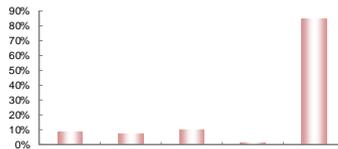


	サンプル数	聞いたことがある	聞いたことがない
全体	900	67.6	32.4
性別			
男性	291	73.9	26.1
女性	209	58.9	41.1
年代			
20代	110	74.5	25.5
30代	104	66.3	33.7
40代	100	74.0	26.0
50代	88	69.3	30.7
60代以上	98	51.0	49.0
F7 待合室にある冊子閲覧			
見る	204	90.2	9.8
ときどき見る	170	66.5	33.5
あまり見ない	82	34.1	65.9
見ない	44	29.5	70.5
Q1 献血への関心			
関心がある	222	83.8	16.2
やや関心がある	153	64.1	35.9
あまり関心がない	78	44.9	55.1
関心がない	47	40.4	59.6
Q2 献血経験			
10回以上	135	80.7	19.3
1~9回	273	68.9	31.1
献血した経験はない	83	45.8	54.2
分からない/覚えていない	9	33.3	66.7
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間			
5分未満	64	71.9	28.1
5分~10分未満	154	84.4	15.6
10分以上	83	82.5	17.5
分からない/覚えていない	19	42.1	57.9
Q16 インフォームド・コンセントの満足度			
満足した	215	85.1	14.9
どちらともいえない/満足していない	85	62.4	37.6

# Q4. 認知している血漿分画製剤

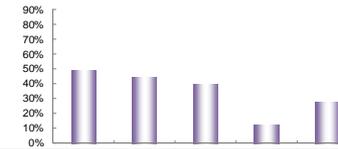
- 全体 : 認知している血漿分画製剤をたずねたところ、一般生活者では「わからない」が84.7%で最も高かった。血漿分画製剤使用経験者では「人血清アルブミン製剤」が最多で49.0%、次いで「人免疫グロブリン製剤」44.6%、「血液凝固因子製剤」40.0%であった。
- 冊子閲覧 : 一般生活者のうち、冊子を『見る』人の上位項目は「血液凝固因子製剤」30.6%、次いで「人血清アルブミン製剤」23.5%、「人免疫グロブリン製剤」19.7%であった。冊子を『見る』血漿分画製剤使用経験者では「人血清アルブミン製剤」72.5%、「人免疫グロブリン製剤」61.8%、「血液凝固因子製剤」57.8%の順であり、いずれもそれぞれの全体より10ポイント以上高かった。
- 献血への関心 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、献血への『関心がある』人は、各血漿分画製剤に対する認知度がそれぞれの全体より高くなっている。
- 献血経験 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、献血経験が多いほど、各血漿分画製剤に対する認知度が高くなる傾向が認められた。

## 一般生活者調査



	サンプル数	人血清アルブミン製剤	人免疫グロブリン製剤	血液凝固因子製剤	その他の血漿分画製剤	わからない	
全体	2,000	8.5	7.3	9.9	1.6	84.7	
性別	男性	1,000	8.3	6.9	9.0	1.7	86.0
	女性	1,000	8.6	7.6	10.8	1.5	83.3
年代	20代	400	10.0	6.8	9.3	1.5	84.8
	30代	400	7.8	8.5	9.0	1.3	86.0
	40代	400	5.3	5.3	6.3	1.0	89.0
	50代	400	7.5	6.2	10.3	2.0	83.3
	60代以上	400	11.8	9.3	14.8	2.3	80.3
F7 待合室にある冊子閲覧	見る	183	23.5	19.7	30.6	3.8	59.6
	ときどき見る	641	10.6	9.8	13.1	1.2	79.3
	あまり見ない	566	6.9	5.7	6.4	1.9	88.3
	見ない	610	3.1	2.3	3.6	1.0	94.4
Q1 献血への関心	関心がある	295	23.7	19.2	26.8	2.7	63.7
	やや関心がある	511	10.0	9.0	11.0	1.8	81.0
	あまり関心がない	619	4.4	3.7	5.9	1.5	89.7
	関心がない	575	3.7	3.3	4.7	1.0	93.2
Q2 献血経験	10回以上	256	20.7	16.8	23.8	3.5	70.3
	1~9回	697	10.6	10.0	10.8	1.4	80.2
	献血した経験はない	923	4.1	3.4	6.4	1.1	90.7
	分からない/覚えていない	124	3.2	0.8	2.4	2.4	94.4

## 血漿分画製剤使用経験者調査

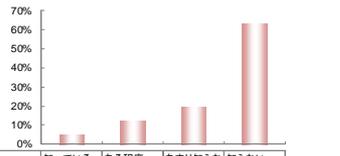


	サンプル数	人血清アルブミン製剤	人免疫グロブリン製剤	血液凝固因子製剤	その他の血漿分画製剤	わからない	
全体	500	49.0	44.6	40.0	12.0	27.2	
性別	男性	291	50.5	43.3	40.5	13.7	26.8
	女性	209	46.9	46.4	39.2	9.6	27.8
年代	20代	110	54.5	45.5	34.5	12.7	19.1
	30代	104	47.1	39.0	41.3	11.5	23.1
	40代	100	54.0	50.0	45.0	14.0	25.0
	50代	88	58.0	43.2	42.0	13.8	26.1
	60代以上	98	31.6	33.7	37.8	8.2	43.9
F7 待合室にある冊子閲覧	見る	204	72.5	61.8	57.8	17.8	7.8
	ときどき見る	170	40.0	41.8	35.9	7.6	27.6
	あまり見ない	82	22.0	24.4	14.6	11.0	54.9
	見ない	44	25.0	13.6	20.5	4.5	63.6
Q1 献血への関心	関心がある	222	67.6	54.1	56.0	17.1	14.4
	やや関心がある	153	41.2	44.4	34.6	8.5	28.1
	あまり関心がない	78	28.2	30.8	24.4	7.7	44.9
	関心がない	47	21.3	23.4	12.8	6.4	61.7
Q2 献血経験	10回以上	135	66.7	52.6	45.9	19.3	21.5
	1~9回	273	46.9	42.1	39.9	9.5	24.5
	献血した経験はない	83	30.1	42.2	31.3	8.4	43.4
	分からない/覚えていない	9	22.2	22.2	33.3	11.1	44.4
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間	5分未満	64	57.8	43.8	39.1	10.9	21.9
	5~10分未満	154	41.2	44.4	34.6	8.5	28.1
	10分以上	83	60.3	56.5	42.3	14.3	14.3
	分からない/覚えていない	19	26.3	36.8	26.3	10.5	36.8
Q16 インフォームド・コンセントの満足度	満足した	215	70.2	59.1	58.1	18.1	9.8
	どちらともいえない/満足していない	85	41.2	40.0	29.4	8.2	32.9

# Q5-1. 輸血用血液製剤の製法認知

- 全体 : 資料を提示した上で、輸血用血液製剤の製法を知っているかどうかをたずねたところ、「知っている」+「ある程度知っている」の“知っている計”で見た場合、一般生活者の17.5%、血漿分画製剤使用経験者の77.8%が輸血用血液製剤の製法を認知していた。
- 冊子閲覧 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、冊子を『見る』人は「知っている」がそれぞれの全体と比較して10ポイント以上高い。“知っている計”で見ると、冊子を『見る』血漿分画製剤使用経験者の9割以上は製法を認知していた。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』と答えた一般生活者の17.3%は「知っている」、25.4%は「ある程度知っている」と回答しており、全体と比べてそれぞれ10ポイント以上高い。

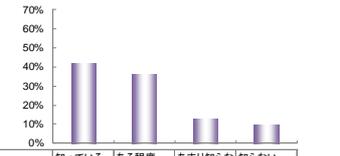
## 一般生活者調査



	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計
全体	2,000	5.1	12.4	19.7	62.9	17.5
性別						
男性	1,000	5.4	13.4	19.9	61.3	18.8
女性	1,000	4.7	11.4	19.4	64.5	16.1
年代						
20代	400	6.0	7.8	16.8	69.5	13.8
30代	400	4.0	11.0	16.5	68.5	15.0
40代	400	5.5	9.3	16.8	68.3	15.0
50代	400	5.0	11.5	22.3	61.3	16.5
60代以上	400	4.8	22.3	26.0	47.0	27.1
F7待合室にある冊子閲覧						
見る	183	16.4	29.0	16.9	37.7	45.4
ときどき見る	641	6.1	16.8	25.6	51.5	22.9
あまり見ない	566	3.5	9.0	23.0	64.5	12.5
見ない	610	2.0	5.9	11.1	81.0	7.9
Q1献血への関心						
関心がある	295	17.3	25.4	15.6	41.7	42.7
やや関心がある	511	3.5	17.2	31.8	47.9	20.7
あまり関心がない	619	2.9	8.4	22.3	66.4	11.3
関心がない	575	2.4	5.7	8.5	83.3	8.1
Q2献血経験						
10回以上	256	13.3	23.4	21.9	41.4	36.7
1~9回	697	6.0	15.9	25.4	52.7	21.9
献血した経験はない	923	2.6	6.9	15.1	75.4	9.5
分からない/覚えていない	124	0.8	10.5	16.9	71.8	11.3

■ 全体より10ポイント以上高い
 ■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上低い

## 血漿分画製剤使用経験者調査



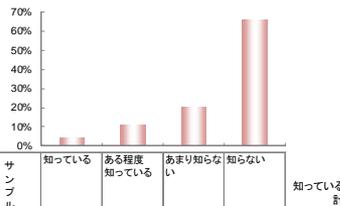
	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計
全体	500	42.0	35.8	12.8	9.4	77.8
性別						
男性	291	43.0	36.8	11.7	8.6	79.8
女性	209	40.7	34.4	14.4	10.5	75.1
年代						
20代	110	46.4	35.5	13.6	4.5	81.9
30代	104	45.2	35.6	10.6	8.7	80.8
40代	100	45.0	35.0	11.0	9.0	80.0
50代	88	42.0	36.4	9.1	12.5	78.4
60代以上	98	30.6	36.7	19.4	13.3	67.3
F7待合室にある冊子閲覧						
見る	204	60.8	32.8	3.4	2.9	93.6
ときどき見る	170	29.4	49.4	15.9	5.3	78.8
あまり見ない	82	22.0	24.4	28.0	25.6	46.4
見ない	44	40.9	18.2	15.9	25.0	59.1
Q1献血への関心						
関心がある	222	59.9	29.7	6.8	3.6	89.6
やや関心がある	153	26.1	36.3	14.4	9.2	76.4
あまり関心がない	78	26.9	33.3	21.8	17.9	60.2
関心がない	47	34.0	21.3	21.3	23.4	55.3
Q2献血経験						
10回以上	135	57.8	28.9	8.1	5.2	86.7
1~9回	273	39.6	40.3	12.5	7.7	79.9
献血した経験はない	83	25.3	34.9	19.3	20.5	60.2
分からない/覚えていない	9	33.3	11.1	33.3	22.2	44.4
Q11インフォームド・コンセントの説明時間						
5分未満	64	53.1	31.3	10.9	4.7	84.4
5分~10分未満	154	51.9	37.7	5.2	5.2	89.6
10分以上	83	57.1	29.8	9.5	4.8	85.7
分からない/覚えていない	19	31.6	36.8	21.1	10.5	68.4
Q16インフォームド・コンセントの満足度						
満足した	215	58.1	33.5	4.7	3.7	91.6
どちらともいえない/満足していない	85	36.5	36.5	17.6	9.4	73.0

※ 資料①は、巻末(p.59)に掲載しています。

# Q5-2. 血漿分画製剤の製法認知

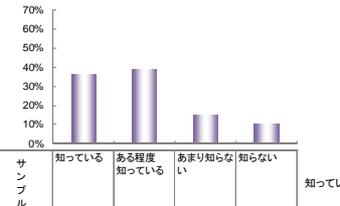
- 全体 : 資料を提示した上で、血漿分画製剤の製法を知っているかどうかをたずねたところ、「知っている」+「ある程度知っている」の“知っている計”で見た場合、一般生活者の14.8%、血漿分画製剤使用経験者の74.8%が製法を認知していた。輸血用血液製剤の製法認知とほぼ同程度であった。
- 冊子閲覧 : 一般生活者のうち、冊子を『見る』人の15.3%は「知っている」、29.5%は「ある程度知っている」と回答しており、いずれも全体と比べて10ポイント以上高い。“知っている計”で見ると、冊子を『見る』血漿分画製剤使用経験者では9割以上が製法を認知していた。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』と答えた一般生活者の14.9%は「知っている」、23.7%は「ある程度知っている」と回答した。これらは全体と比べてそれぞれ10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計	
全体	2,000	3.9	10.9	19.8	65.5	14.8	
性別	男性	4.3	11.5	19.7	64.5	15.8	
	女性	3.4	10.2	19.9	66.5	13.6	
年代	20代	3.5	9.3	16.0	71.3	12.8	
	30代	4.0	3.5	8.3	18.0	70.3	11.8
	40代	4.0	3.8	7.0	16.5	72.8	10.8
	50代	4.0	4.0	11.3	21.5	63.3	15.3
	60代以上	4.0	4.5	18.5	27.0	50.0	23.0
F7待合室にある冊子閲覧	見る	183	15.3	29.5	16.4	38.8	44.8
	ときどき見る	641	4.1	15.1	25.9	54.9	19.2
	あまり見ない	566	2.7	6.7	23.3	67.3	9.4
	見ない	610	1.3	4.6	11.1	83.0	5.9
Q1献血への関心	関心がある	295	14.9	23.7	18.3	43.1	38.6
	やや関心がある	511	2.0	14.1	32.3	51.7	16.1
	あまり関心がない	619	1.8	7.8	21.3	69.1	9.6
	関心がない	575	2.1	4.7	7.8	85.4	6.8
Q2献血経験	10回以上	256	12.9	22.3	23.4	41.4	35.2
	1~9回	697	3.7	14.3	24.8	57.1	18.0
	献血した経験はない	923	1.7	5.4	15.5	77.4	7.1
	分からない/覚えていない	124	1.6	8.1	16.1	74.2	9.7

## 血漿分画製剤使用経験者調査



	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計	
全体	500	36.2	38.6	14.8	10.4	74.8	
性別	男性	291	35.1	41.6	13.7	9.6	76.7
	女性	209	37.8	34.4	16.3	11.5	72.2
年代	20代	110	40.0	38.2	16.4	5.5	78.2
	30代	104	36.5	39.4	14.4	9.8	75.9
	40代	100	39.0	36.9	15.0	10.0	75.0
	50代	88	38.6	38.6	9.1	13.8	77.2
	60代以上	98	26.5	40.8	18.4	14.3	67.3
F7待合室にある冊子閲覧	見る	204	50.0	40.7	6.4	2.9	90.7
	ときどき見る	170	25.9	45.3	22.9	5.9	71.2
	あまり見ない	82	25.6	23.2	23.2	28.0	48.8
	見ない	44	31.8	31.8	6.8	29.5	63.6
Q1献血への関心	関心がある	222	50.9	35.6	9.5	4.1	86.5
	やや関心がある	153	22.9	48.4	19.0	9.8	71.3
	あまり関心がない	78	26.9	34.6	19.2	19.2	61.5
	関心がない	47	25.5	27.7	19.1	27.7	53.2
Q2献血経験	10回以上	135	54.1	31.1	8.9	5.9	85.2
	1~9回	273	32.2	42.5	16.5	8.8	74.7
	献血した経験はない	83	19.3	38.6	20.5	21.7	57.9
	分からない/覚えていない	9	44.4	33.3	-	22.2	77.7
Q11インフォームド・コンセントの説明時間	5分未満	64	42.2	40.6	12.5	4.7	82.8
	5分~10分未満	154	43.5	42.2	8.4	5.8	85.7
	10分以上	63	46.0	39.7	9.5	4.8	85.7
	分からない/覚えていない	19	21.1	42.1	21.1	15.8	63.2
Q16インフォームド・コンセントの満足度	満足した	215	50.7	37.7	7.0	4.7	88.4
	どちらともいえない/満足していない	85	21.2	50.6	18.8	9.4	71.8

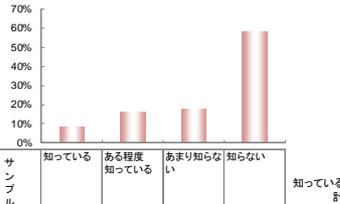
■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

※ 資料①は、巻末(p.59)に掲載しています。

# Q6-1. 輸血用血液製剤の目的認知

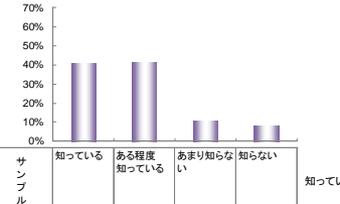
- 全体 : 輸血用血液製剤の目的についてたずねたところ、「知っている」+「ある程度知っている」の“知っている計”で見た場合、一般生活者の23.8%、血漿分画製剤使用経験者の81.4%が輸血用血液製剤の目的を認知していた。
- 冊子閲覧 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、冊子を『見る』人は「知っている」がそれぞれの全体と比較して10ポイント以上高い。“知っている計”で見ると、冊子を『見る』血漿分画製剤使用経験者の9割以上は目的を認知していた。
- 献血への関心 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、献血への『関心がある』人は「知っている」がそれぞれの全体より10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計	
全体	2,000	7.9	15.9	17.9	58.4	23.8	
性別	男性	1,000	7.5	16.1	18.9	57.5	23.6
	女性	1,000	8.3	15.6	16.9	59.2	23.9
	20代	400	6.3	13.3	15.3	65.3	19.6
年代	30代	400	7.8	13.0	15.5	63.8	20.8
	40代	400	6.5	12.5	15.0	66.0	19.0
	50代	400	8.3	17.5	20.3	54.5	25.3
	60代以上	400	10.8	23.5	23.5	42.3	34.3
	F7 待合室にある冊子閲覧	183	21.3	29.0	14.2	35.5	50.3
Q1 献血への関心	ときどき見る	641	9.5	22.9	22.8	44.8	32.4
	あまり見ない	566	5.5	12.9	21.0	60.6	18.4
	見ない	610	4.4	7.2	11.0	77.4	11.6
	関心がある	295	21.4	25.1	14.2	39.3	46.5
Q2 献血経験	やや関心がある	511	6.7	22.3	27.0	44.0	29.0
	あまり関心がない	619	5.3	13.9	21.2	59.6	19.2
	関心がない	575	4.9	7.5	8.2	79.5	12.4
	10回以上	256	17.2	23.8	19.5	39.5	41.0
Q2 献血経験	1~9回	697	9.0	19.7	23.5	47.8	28.7
	献血した経験はない	923	4.9	11.5	13.4	70.2	16.4
	分からない/覚えていない	124	4.8	10.5	16.1	68.5	15.3

## 血漿分画製剤使用経験者調査

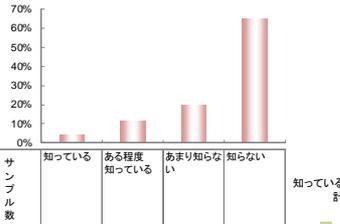


	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計	
全体	500	40.4	41.0	10.6	8.0	81.4	
性別	男性	291	38.8	42.6	10.3	8.2	81.4
	女性	209	42.6	38.8	11.0	7.7	81.4
	20代	110	41.8	44.5	9.1	4.5	86.3
年代	30代	104	40.4	44.2	9.6	5.8	84.6
	40代	100	43.0	40.0	10.0	7.0	83.0
	50代	88	46.6	33.0	9.1	11.4	79.6
	60代以上	98	30.6	41.8	15.3	12.2	72.4
	F7 待合室にある冊子閲覧	204	55.4	38.7	4.4	1.5	94.1
Q1 献血への関心	ときどき見る	170	32.9	50.0	10.6	6.5	82.9
	あまり見ない	82	18.3	36.6	26.8	18.3	54.9
	見ない	44	40.9	25.0	9.1	25.0	65.9
	関心がある	222	54.5	36.9	5.9	2.7	91.4
Q2 献血経験	やや関心がある	153	24.8	37.5	11.1	6.5	82.3
	あまり関心がない	78	30.8	30.8	21.8	16.7	61.6
	関心がない	47	40.4	23.4	12.8	23.4	63.8
	10回以上	135	58.5	31.1	5.2	5.2	89.6
Q2 献血経験	1~9回	273	33.7	47.3	12.5	6.6	81.0
	献血した経験はない	83	33.7	37.3	13.3	15.7	71.1
	分からない/覚えていない	9	33.3	33.3	11.1	22.2	66.6
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間	5分未満	64	56.3	32.8	6.3	4.7	89.1
	5分~10分未満	154	44.8	47.4	3.9	3.9	92.2
	10分以上	83	52.4	35.1	9.5	9.5	90.5
	分からない/覚えていない	19	36.8	47.4	10.5	5.3	84.2
Q16 インフォームド・コンセントの満足度	満足した	215	54.9	40.5	2.8	1.9	95.4
	どちらともいえない/満足していない	85	31.8	47.1	14.1	7.1	78.9

# Q6-2. 血漿分画製剤の目的認知

- 全体 : 血漿分画製剤の目的についてたずねたところ、「知っている」+「ある程度知っている」の“知っている計”で見た場合、一般生活者の15.5%が目的を認知していた。輸血用血液製剤の目的に比べ、やや低い認知度であった。血漿分画製剤使用経験者では、78.6%が目的を認知していた。
- 冊子閲覧 : 一般生活者のうち、冊子を『見る』人の14.8%は「知っている」、29.0%は「ある程度知っている」と回答しており、いずれも全体と比べて10ポイント以上高い。“知っている計”で見ると、冊子を『見る』血漿分画製剤使用経験者では9割以上が製法を認知していた。
- 献血への関心 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、献血への『関心がある』人は「知っている」がそれぞれの全体より10ポイント以上高い。

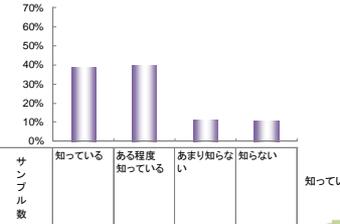
## 一般生活者調査



	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計
全体	2,000	4.1	11.4	19.5	65.0	15.5
性別						
男性	1,000	4.3	12.7	20.0	63.0	17.0
女性	1,000	3.9	10.1	19.0	67.0	14.0
年代						
20代	400	4.5	9.3	15.8	70.5	13.8
30代	400	4.0	9.5	16.8	69.8	13.5
40代	400	2.8	8.5	14.8	74.0	11.3
50代	400	4.5	11.8	23.3	60.5	16.3
60代以上	400	4.8	18.0	27.0	50.3	22.8
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	183	14.8	29.0	17.5	38.8	43.8
ときどき見る	641	4.2	16.7	25.0	54.1	20.9
あまり見ない	566	2.8	7.4	23.0	66.8	10.2
見ない	610	2.0	4.3	11.1	82.6	6.3
Q1 献血への関心						
関心がある	295	15.3	23.1	18.3	43.4	38.4
やや関心がある	511	1.8	7.2	31.1	59.9	18.8
あまり関心がない	619	2.3	8.1	20.5	69.1	10.4
関心がない	575	2.6	3.8	8.7	84.9	6.4
Q2 献血経験						
10回以上	256	12.5	21.1	24.2	42.2	33.6
1~9回	697	4.3	14.6	25.0	56.1	18.9
献血した経験はない	923	2.1	6.6	14.7	76.6	8.7
分からない/覚えていない	124	0.8	8.9	14.5	75.8	9.7

■ 全体より10ポイント以上高い
 ■ 全体より5ポイント以上高い
 ■ 全体より10ポイント以上低い

## 血漿分画製剤使用経験者調査

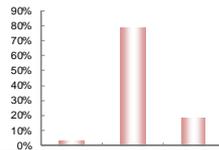


	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計
全体	500	38.8	39.8	11.2	10.2	78.6
性別						
男性	291	36.8	41.6	11.7	10.0	78.4
女性	209	41.6	37.3	10.5	10.5	78.9
年代						
20代	110	47.3	40.0	5.5	7.3	87.3
30代	104	38.5	42.3	11.5	7.7	80.8
40代	100	35.0	42.0	12.0	11.0	77.0
50代	88	48.9	27.3	12.5	11.4	76.2
60代以上	98	24.5	45.9	15.3	14.3	70.4
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	204	54.4	41.2	2.5	2.0	95.6
ときどき見る	170	30.6	44.7	17.6	7.1	75.3
あまり見ない	82	19.5	32.9	23.2	24.4	52.4
見ない	44	34.1	27.3	4.5	34.1	61.4
Q1 献血への関心						
関心がある	222	52.7	38.3	5.0	4.1	91.0
やや関心がある	153	27.5	48.4	16.3	7.8	75.9
あまり関心がない	78	23.2	34.8	17.9	19.2	62.8
関心がない	47	27.7	27.7	12.8	31.9	55.4
Q2 献血経験						
10回以上	135	51.1	34.8	5.9	8.1	85.9
1~9回	273	37.0	43.2	12.1	7.7	80.2
献血した経験はない	83	24.1	39.8	16.9	19.3	63.9
分からない/覚えていない	9	44.4	11.1	11.1	33.3	55.5
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間						
5分未満	64	45.3	43.8	6.3	4.7	89.1
5分~10分未満	154	43.5	45.5	7.1	3.9	89.0
10分以上	83	58.7	30.2	11.1	1.1	88.9
分からない/覚えていない	19	26.3	42.1	10.5	21.1	68.4
Q16 インフォームド・コンセントの満足度						
満足した	215	52.6	40.0	5.1	2.3	95.4
どちらともいえない/満足していない	85	29.4	45.9	15.3	9.4	78.9

# Q7-1. 輸血用血液製剤での治療経験

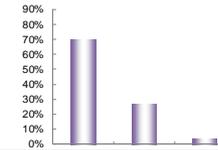
- 全体 : 輸血用血液製剤での治療経験をたずねたところ、治療経験が「ある」と回答したのは、一般生活者で3.3%、血漿分画製剤使用経験者では70.0%であった。
- 冊子閲覧 : 一般生活者のうち、冊子を『見る』人の13.1%は治療経験が「ある」と回答した。これは全体と比較して10ポイント程度高い。血漿分画製剤使用経験者では、冊子を『見る人』の81.4%が治療経験が「ある」と回答しており、全体より10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 一般生活者のうち、献血への「関心がある」人の10.5%は治療経験が「ある」と回答した。これは全体と比較すると5ポイント以上高い。血漿分画製剤使用経験者では、「関心がある」人の82.0%が治療経験が「ある」と回答しており、全体より10ポイント以上高い。
- 献血経験 : 血漿分画製剤使用経験者で、献血経験が「10回以上」と回答した人の80.7%が治療経験が「ある」と回答した。これは全体より10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	ある	ない	わからない/覚えていない
全体	2,000	3.3	78.5	18.3
性別				
男性	1,000	3.4	77.6	19.0
女性	1,000	3.2	79.3	17.5
年代				
20代	400	3.0	76.0	21.0
30代	400	2.8	80.5	16.8
40代	400	3.5	76.5	20.0
50代	400	2.0	79.9	18.3
60代以上	400	5.3	79.8	15.0
F7 待合室にある冊子閲覧				
見る	183	13.1	73.2	13.7
ときどき見る	641	4.7	79.3	16.1
あまり見ない	566	1.4	78.1	20.5
見ない	610	0.7	79.5	19.8
Q1 献血への関心				
関心がある	295	10.5	76.9	12.5
やや関心がある	511	2.0	81.0	17.0
あまり関心がない	619	2.7	77.9	19.4
関心がない	575	1.4	77.6	21.0
Q2 献血経験				
10回以上	256	5.1	85.2	9.8
1~9回	697	5.0	75.2	19.8
献血した経験はない	923	1.6	82.2	16.1
分からない/覚えていない	124	2.4	64.8	42.7

## 血漿分画製剤使用経験者調査

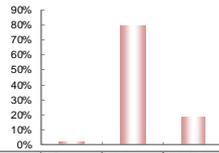


	サンプル数	ある	ない	わからない/覚えていない
全体	500	70.0	26.6	3.4
性別				
男性	291	68.7	28.9	2.4
女性	209	71.8	23.4	4.8
年代				
20代	110	74.5	23.6	1.8
30代	104	70.2	27.9	1.9
40代	100	70.0	28.0	2.0
50代	88	69.3	21.6	9.1
60代以上	98	65.3	31.6	3.1
F7 待合室にある冊子閲覧				
見る	204	81.4	17.6	1.0
ときどき見る	170	63.5	32.4	4.1
あまり見ない	82	53.7	39.0	7.3
見ない	44	72.7	22.7	4.5
Q1 献血への関心				
関心がある	222	82.0	15.3	2.7
やや関心がある	64	15.3	33.3	2.0
あまり関心がない	78	57.7	35.9	6.4
関心がない	47	51.1	42.6	6.4
Q2 献血経験				
10回以上	135	80.7	15.6	3.7
1~9回	273	68.9	29.3	1.8
献血した経験はない	83	55.4	38.6	6.0
分からない/覚えていない	9	77.8	-	22.2
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間				
5分未満	64	73.4	21.9	4.7
5分~10分未満	154	64.7	20.1	0.6
10分以上	83	65.3	25.4	6.3
分からない/覚えていない	19	84.2	15.8	-
Q16 インフォームド・コンセントの満足度				
満足した	215	78.7	20.9	2.3
どちらともいえない/満足していない	85	74.1	22.4	3.5

# Q7-2. 血漿分画製剤での治療経験

- 全体 : 血漿分画製剤での治療経験をたずねたところ、治療経験が「ある」と回答したのは2.0%であり、輸血用血液製剤での治療経験3.3%と同様に、治療経験のない人が大半を占めた。
- 冊子閲覧 : 一般生活者のうち、冊子を『見る』人の11.5%は治療経験が「ある」と回答した。これは全体と比較すると5ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 一般生活者のうち、献血への「関心がある」人の7.5%は治療経験が「ある」と回答した。これは全体と比較すると5ポイント以上高い。
- 献血経験 : 献血経験が「わからない/覚えていない」と回答した人の42.7%が、治療経験についても「わからない/覚えていない」と回答した。これは全体より20ポイント以上高い。

## 一般生活者調査

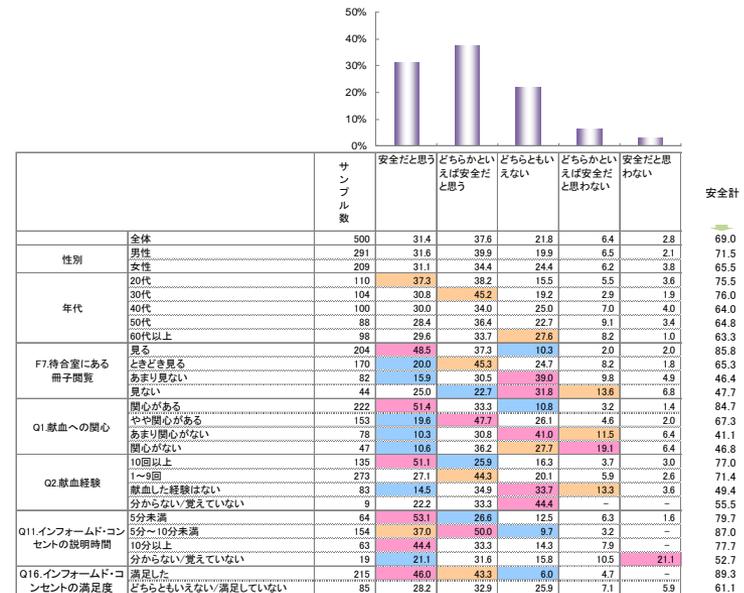


	サンプル数	ある	ない	わからない/覚えていない
全体	2,000	2.0	79.7	18.4
性別	男性	2.5	78.4	19.1
	女性	1.4	80.9	17.7
年代	20代	2.8	76.3	21.0
	30代	3.0	80.5	16.5
	40代	1.3	78.5	20.3
	50代	1.3	80.0	18.8
	60代以上	1.5	83.0	15.5
F7 待合室にある冊子閲覧	見る	11.5	74.9	13.7
	ときどき見る	1.9	81.9	16.2
	あまり見ない	0.5	78.8	20.7
	見ない	0.5	79.5	20.0
Q1 献血への関心	関心がある	7.5	78.0	14.6
	やや関心がある	2.0	82.0	15.5
	あまり関心がない	0.5	79.3	20.0
Q2 献血経験	関心がない	0.5	78.3	21.2
	10回以上	4.3	85.5	10.2
	1~9回	2.9	77.2	19.9
	献血した経験はない	0.9	82.9	16.3
	124	-	67.3	42.7

# Q8. 血漿分画製剤安全性イメージ

- 全体 : 血漿分画製剤使用経験者に血漿分画製剤の安全性イメージをたずねたところ、「安全だと思う」が31.4%であった。「安全だと思う」+「どちらかといえば安全だと思う」の“安全計”で見ると、69.0%が安全であると回答した。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人の48.5%が「安全だと思う」と回答しており、全体と比べて10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』と回答した人の51.4%は「安全だと思う」と回答した。これは全体と比べて20ポイント程度高い。

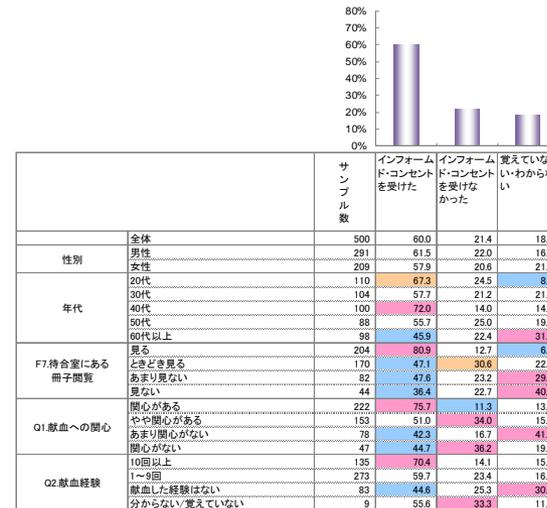
## 血漿分画製剤使用経験者調査



# Q9. 血漿分画製剤治療時のインフォームド・コンセントの有無

- 全体 : インフォームド・コンセントを受けたことがある人は60.0%であった。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る人』の80.9%が「インフォームド・コンセントを受けた」と回答しており、全体より10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血への「関心がある」人の75.7%が「インフォームド・コンセントを受けた」と回答しており、全体より10ポイント以上高い。

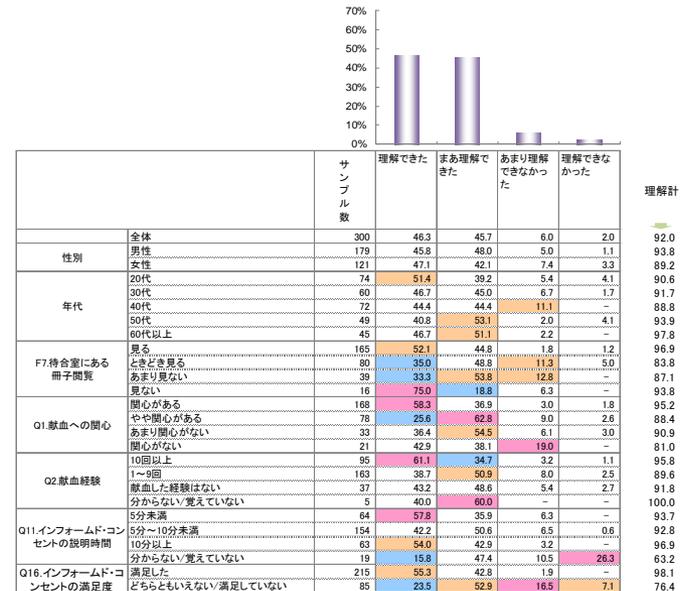
## 血漿分画製剤使用経験者調査



# Q10. インフォームド・コンセントの内容理解度

- 全体 : インフォームド・コンセントの内容理解度をたずねたところ、「理解できた」が46.3%であった。「理解できた」+「まあ理解できた」の“理解計”で見ると、92.0%が理解できたと回答した。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人の52.1%が「理解できた」と回答しており、全体と比較して5ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』と回答した人の58.3%は「理解できた」と回答した。これは全体と比較して10ポイント以上高い。

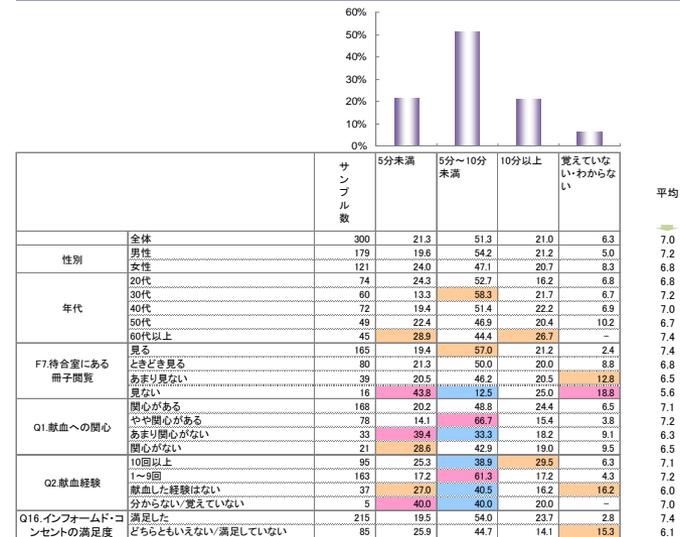
## 血漿分画製剤使用経験者調査



# Q11. インフォームド・コンセントの説明時間

- 全体 : インフォームド・コンセントの説明時間をたずねたところ、「5分～10分未満」が最多回答で51.3%であった。平均は、7.0分であった。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人では57.0%が「5分～10分未満」と回答しており全体との差は5ポイント程度に過ぎないが、『見ない』人では12.5%と大きな開きが見られた。
- 献血経験 : 献血経験が『1～9回』の人では61.3%が「5分～10分未満」と回答しており、全体より10ポイント以上高い。

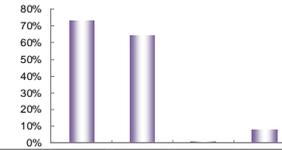
## 血漿分画製剤使用経験者調査



# Q12. インフォームド・コンセント時の説明資料や同意書の有無

- 全体 : インフォームド・コンセント時の説明資料や同意書の有無をたずねたところ、「説明の資料があった」のは73.0%、「同意書があった」のは64.0%であった。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人のうち、「説明の資料があった」のは86.7%で、これは全体と比べて10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』と回答した人の83.3%が「説明の資料があった」と回答した。これは全体より10ポイント以上高い。

## 血漿分画製剤使用経験者調査

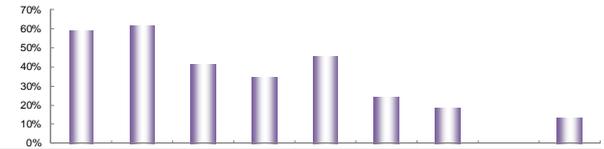


	サンプル数	説明の資料があった	同意書があった	その他	覚えていない/わからない
全体	300	73.0	64.0	0.3	7.7
性別					
男性	179	74.3	66.5	-	3.9
女性	121	71.1	60.3	0.8	13.2
年代					
20代	74	82.4	51.4	1.4	6.8
30代	80	81.7	66.7	-	1.7
40代	72	75.0	66.7	-	8.3
50代	49	63.3	65.3	-	16.3
60代以上	45	53.3	75.8	-	6.7
F7 待合室にある冊子閲覧					
見る	165	86.7	65.5	-	1.8
ときどき見る	80	56.3	65.0	1.3	11.3
あまり見ない	39	53.8	56.4	-	23.1
見ない	16	62.5	62.5	-	12.5
Q1 献血への関心					
関心がある	168	83.3	65.5	-	4.2
やや関心がある	78	69.2	55.1	-	10.3
あまり関心がない	33	48.5	69.7	3.0	15.2
関心がない	21	42.9	76.2	-	14.3
Q2 献血経験					
10回以上	95	81.1	65.3	-	4.2
1~9回	163	73.0	62.0	-	8.0
献血した経験はない	37	56.8	70.3	2.7	13.5
分からない/覚えていない	5	40.0	60.0	-	20.0
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間					
5分未満	84	73.4	48.4	-	6.3
5分~10分未満	154	74.7	67.5	-	3.9
10分以上	63	84.1	79.4	1.6	3.2
分からない/覚えていない	19	21.1	36.8	-	57.9
Q16 インフォームド・コンセントの満足度					
満足した	215	81.4	67.0	0.5	3.3
どちらともいえない/満足していない	85	51.8	56.5	-	18.8

# Q13. インフォームド・コンセントの内容で記憶にあること

- 全体 : インフォームド・コンセントの内容で記憶にあることをたずねたところ、「血漿分画製剤の投与が必要な理由」が61.7%、次いで「血漿分画製剤とは」58.7%、「ウイルス感染症の伝播に対する安全性」45.3%であった。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人では「血漿分画製剤とは」と「代替治療」が全体より10ポイント以上高かった。

## 血漿分画製剤使用経験者調査

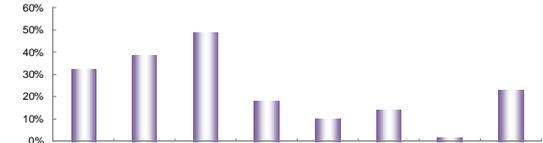


	サンプル数	血漿分画製剤とは	血漿分画製剤の投与が必要な理由	血漿分画製剤がなかった場合の不利点	代替治療 (血漿分画製剤に代わる治療法)	ウイルス感染症の伝播に対する安全性	使用記録の保管が必要なこと	健康被害救済制度	その他	覚えていない/わからない
全体	300	58.7	61.7	41.3	34.7	45.3	24.0	18.3	-	13.3
性別										
男性	179	61.5	61.5	43.6	34.1	46.4	24.0	19.0	-	11.2
女性	121	54.5	62.0	38.0	35.5	43.8	24.0	17.4	-	16.5
年代										
20代	74	64.9	64.9	36.5	35.1	33.8	18.9	18.9	-	6.8
30代	80	60.0	56.3	59.0	38.3	48.3	30.0	20.0	-	5.0
40代	72	50.0	63.9	41.7	37.5	43.1	27.9	18.1	-	18.1
50代	49	67.3	61.2	44.9	36.7	57.1	28.6	20.4	-	18.4
60代以上	45	51.1	57.8	26.7	22.2	51.1	13.3	13.3	-	22.2
F7 待合室にある冊子閲覧										
見る	165	71.5	67.3	50.9	44.8	49.1	30.9	23.6	-	4.2
ときどき見る	80	46.3	60.0	36.3	23.8	40.0	16.3	12.5	-	15.0
あまり見ない	39	35.9	48.7	15.4	15.4	41.0	12.8	5.1	-	35.9
見ない	16	43.8	43.8	31.3	31.3	43.8	18.8	25.0	-	43.8
Q1 献血への関心										
関心がある	168	67.9	64.9	47.0	42.3	47.0	28.6	22.6	-	8.3
やや関心がある	78	57.7	67.9	38.5	29.5	43.6	24.4	16.7	-	9.0
あまり関心がない	33	36.4	51.5	30.9	27.3	48.5	12.1	6.1	-	21.2
関心がない	21	23.8	28.6	23.8	4.3	33.3	4.8	9.5	-	57.1
Q2 献血経験										
10回以上	95	65.3	65.3	44.2	40.0	55.8	31.6	28.4	-	11.6
1~9回	163	59.5	60.7	40.5	33.1	38.7	20.2	14.1	-	10.4
献血した経験はない	37	43.2	59.5	43.2	32.4	51.4	21.6	13.5	-	24.3
分からない/覚えていない	5	20.0	40.0	-	-	20.0	20.0	-	-	60.0
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間										
5分未満	64	57.8	48.4	29.7	25.0	37.5	10.9	10.9	-	14.1
5分~10分未満	154	57.8	68.2	41.6	30.5	44.2	22.4	16.2	-	5.8
10分以上	83	76.2	70.0	63.5	61.9	66.7	44.4	24.9	-	11.1
分からない/覚えていない	19	10.5	15.8	5.3	10.5	10.5	5.3	5.3	-	78.9
Q16 インフォームド・コンセントの満足度										
満足した	215	69.3	69.3	47.9	40.5	51.6	27.9	23.3	-	7.0
どちらともいえない/満足していない	85	31.8	42.4	24.7	20.0	29.4	14.1	5.9	-	29.4

# Q14. インフォームド・コンセント後の内容調査

- 全体 : インフォームド・コンセント後にどんな調査を行ったかについては「インターネットで調べた」、「その病気・治療に関する書籍・雑誌で調べた」、「医学書で調べた」が上位3項目であった。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人は、上記3項目の回答率が全体と比べて10ポイント以上高かった。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』と回答した人では、「インターネットで調べた」の割合が高かった。

## 血漿分画製剤使用経験者調査

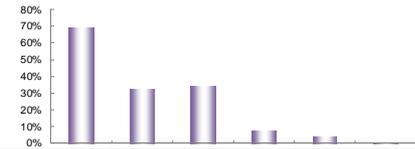


	サンプル数	医学書で調べた	その病気・治療に関する書籍・雑誌で調べた	インターネットで調べた	知人・友人に聞いた	インフォームド・コンセントをうけた病院とは別の病院(セカドオピニオン)に聞いた	看護師・薬剤師などの医療従事者に聞いた	その他	調べていない
全体	300	32.0	38.3	49.0	18.0	10.0	14.0	1.3	23.0
性別									
男性	179	29.6	38.5	51.4	20.1	10.1	14.0	0.6	19.6
女性	121	35.5	38.0	45.5	14.9	9.9	14.0	2.5	28.1
年代									
20代	74	50.0	52.7	51.4	21.6	13.5	13.5	-	5.4
30代	80	40.0	53.3	60.0	30.0	15.0	15.0	-	11.7
40代	72	23.6	30.8	56.9	13.9	8.3	15.3	2.8	23.6
50代	49	22.4	20.4	38.8	10.2	6.1	18.4	4.1	38.8
60代以上	45	15.6	26.7	28.9	11.1	4.4	6.7	-	48.9
F7 待合室にある冊子閲覧									
見る	165	47.9	49.7	66.1	24.2	14.5	15.8	0.6	6.7
ときどき見る	80	17.5	28.8	30.0	13.8	6.3	13.8	3.8	28.8
あまり見ない	39	2.6	20.5	25.6	7.7	2.6	2.6	-	66.7
見ない	16	12.5	12.5	25.0	-	-	25.0	-	56.3
Q1 献血への関心									
関心がある	188	45.2	42.9	57.7	23.2	18.5	18.5	0.6	13.7
やや関心がある	78	24.4	46.7	46.2	15.4	2.6	9.0	-	19.2
あまり関心がない	33	3.0	9.1	30.3	6.1	6.1	6.1	9.1	51.5
関心がない	21	-	9.5	19.0	4.3	-	9.5	-	66.7
Q2 献血経験									
10回以上	95	40.0	35.8	56.8	24.2	14.7	18.9	-	21.1
1~9回	163	33.7	46.0	48.5	17.2	9.2	11.7	0.6	17.2
献血した経験はない	37	5.4	13.5	32.4	5.4	2.7	13.5	8.1	54.1
分からない/覚えていない	5	20.0	20.0	40.0	20.0	-	-	-	20.0
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間									
5分未満	84	29.7	25.0	34.4	15.6	8.4	9.4	3.1	29.7
5分~10分未満	154	35.7	36.6	35.2	16.9	6.5	11.7	0.6	14.3
10分以上	83	33.3	33.3	60.3	26.6	26.6	25.4	1.8	20.6
分からない/覚えていない	19	5.3	-	10.5	-	5.3	10.5	-	78.9
Q16 インフォームド・コンセントの満足度									
満足した	215	38.6	44.7	54.4	21.4	12.1	17.7	0.9	16.3
どちらともいえない/満足していない	85	15.3	22.4	35.3	9.4	4.7	4.7	2.4	40.0

# Q15. インフォームド・コンセント後内容調査した理由

- 全体 : インフォームド・コンセント後に調査を行った理由は「もっと知りたかったから」が69.3%と最も高く、次いで「不安だったから」「理解できなかったから」であった。
- 年代 : 『40代』では「不安だったから」の回答率が高く、全体より10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』と回答した人でも「もっと知りたかったから」が75.2%と最も高く、全体よりさらに5ポイント以上高かった。

## 血漿分画製剤使用経験者調査

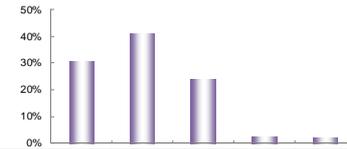


		サンプル数	もっと知りたかったから	理解できなかったから	不安だったから	納得できなかったから	質問できなかったから	その他
性別	全体	231	69.3	32.5	34.2	7.4	3.9	0.4
	男性	144	68.8	27.1	34.7	5.6	3.5	0.7
	女性	87	70.1	41.4	33.3	10.3	4.6	-
年代	20代	70	75.7	34.3	25.7	7.1	4.3	-
	30代	53	69.8	41.5	32.1	9.4	3.8	-
	40代	55	60.0	38.4	45.5	7.3	3.6	1.8
	50代	30	70.0	16.7	33.3	3.3	3.3	-
	60代以上	23	69.6	17.4	39.1	8.7	4.3	-
F7 待合室にある冊子閲覧	見る	154	74.7	34.4	33.1	8.4	5.2	0.6
	ときどき見る	57	56.1	31.6	35.1	3.5	1.8	-
	あまり見ない	13	46.2	23.1	53.8	15.4	-	-
	見ない	7	100.0	14.3	14.3	-	-	-
Q1 献血への関心	関心がある	145	75.2	31.7	36.6	8.3	5.5	-
	やや関心がある	83	55.6	38.1	30.2	8.3	1.6	-
	あまり関心がない	16	58.3	18.8	37.5	8.3	-	6.3
	関心がない	7	100.0	28.6	14.3	-	-	-
Q2 献血経験	10回以上	75	78.7	28.0	33.3	6.7	6.7	-
	1~9回	135	63.0	36.3	34.1	8.1	3.0	0.7
	献血した経験はない	17	82.4	29.4	35.3	-	-	-
	分からない/覚えていない	4	50.0	-	50.0	25.0	-	-
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間	5分未満	45	66.7	22.2	33.3	4.4	2.2	2.2
	5分~10分未満	132	68.9	37.1	30.3	7.6	3.8	-
	10分以上	50	74.0	30.9	48.0	8.0	6.0	-
	分からない/覚えていない	4	50.0	25.0	-	25.0	-	-
Q16 インフォームド・コンセントの満足度	満足した	180	76.7	29.4	32.2	7.2	4.4	-
	どちらともいえない/満足していない	51	43.1	43.1	41.2	7.8	2.0	2.0

# Q16. インフォームド・コンセントの満足度

- 全体 : インフォームド・コンセントの満足度をたずねたところ、「満足した」+「どちらかといえば満足した」の“満足計”で見ると、71.7%が満足と回答した。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人の40.0%が「満足した」と回答した。これは、全体と比較して5ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』と回答した人は「満足した」が全体に比べ10ポイント以上高く、「満足した」+「どちらかといえば満足した」の“満足計”で見ても、82.2%と全体より満足度が高かった。

## 血漿分画製剤使用経験者調査

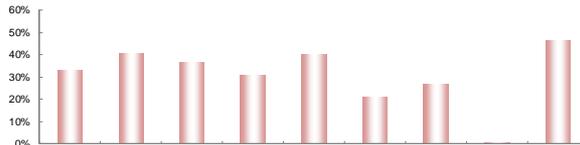


	サンプル数	満足度				満足計		
		満足した	どちらかといえば満足した	どちらかといえば満足しない	満足していない			
全体	300	30.7	41.0	23.7	2.7	2.0	71.7	
性別	男性	179	28.5	45.8	21.2	2.8	1.7	74.3
	女性	121	33.9	33.9	27.3	2.5	2.5	67.8
年代	20代	74	36.5	44.6	14.9	4.1	-	81.1
	30代	80	35.0	40.0	21.7	1.7	1.7	75.0
	40代	72	27.8	33.3	34.7	1.4	2.8	61.1
	50代	49	26.5	49.0	18.4	2.0	4.1	75.5
F7 待合室にある冊子閲覧	見る	165	40.0	43.6	13.9	1.8	0.6	83.6
	見ない	80	17.5	46.3	30.0	3.8	2.5	63.8
Q1 献血への関心	関心がある	168	42.9	39.3	15.5	0.6	1.8	82.2
	関心がない	78	11.5	48.7	32.1	5.1	2.6	60.2
Q2 献血経験	10回以上	95	37.9	40.0	18.9	1.1	2.1	77.9
	1~9回	163	29.4	42.3	23.3	3.1	1.8	71.7
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間	5分未満	64	35.9	29.7	28.1	4.7	1.6	65.6
	5分~10分未満	154	26.6	46.7	20.8	2.6	1.3	75.3
Q16 インフォームド・コンセントの満足度	満足した	215	42.8	57.2	-	-	-	100.0
	満足していない	85	-	-	83.5	9.4	7.1	0.0

# Q18. インフォームド・コンセントで説明して欲しい項目

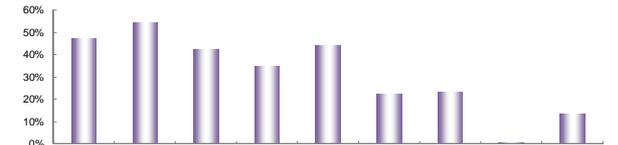
- 全体 : インフォームド・コンセントで説明して欲しい項目をたずねたところ、一般生活者では「血漿分画製剤の投与が必要な理由」、「ウイルス感染症の伝播に対する安全性」だけでなく、「特にない」が同程度に高かった。血漿分画製剤使用経験者では「血漿分画製剤の投与が必要な理由」に次いで、「血漿分画製剤とは」「ウイルス感染症の伝播に対する安全性」となっている。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人は、一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、それぞれの全体より各項目の回答率が高かった。

## 一般生活者調査



	サンプル数	説明して欲しい項目									
		血漿分画製剤とは	血漿分画製剤の投与が必要な理由	血漿分画製剤を使用しなかった場合の不利な点	代替治療(血漿分画製剤に代わる治療法)	ウイルス感染症の伝播に対する安全性	使用記録の保管が必要なこと	健康被害救済制度	その他	特にない	
全体	2,000	33.3	40.7	38.3	39.7	40.3	21.3	26.6	0.3	46.0	
性別	1,000	30.1	37.2	33.1	26.4	35.8	17.7	22.9	0.4	48.8	
男性	1,000	36.5	44.1	39.5	35.0	44.7	24.8	30.2	0.2	43.2	
女性	400	31.3	34.8	31.5	22.5	31.5	18.5	19.8	0.5	52.0	
年代	400	36.0	38.3	32.5	27.5	37.3	19.8	24.0	0.5	48.5	
20代	400	34.3	38.3	35.0	31.0	38.8	22.0	25.5	0.3	49.5	
30代	400	32.5	41.8	37.8	35.5	44.3	22.0	29.8	-	44.3	
40代	400	32.5	50.3	44.8	37.0	49.5	24.0	33.8	0.3	35.8	
50代以上	183	45.4	47.5	44.3	38.3	53.6	31.7	34.4	0.5	29.0	
F7待合室にある冊子閲覧	641	44.0	51.6	47.9	40.6	51.3	26.4	34.5	-	32.3	
見る	568	31.8	43.1	36.2	30.6	41.7	20.8	27.7	0.5	44.5	
あまり見ない	610	19.8	24.8	21.8	18.2	23.3	13.1	14.8	0.3	66.9	
見ない	295	49.5	56.3	49.5	40.3	53.6	33.9	38.3	0.7	27.1	
Q1 献血への関心	511	41.7	47.9	43.8	35.8	50.7	23.7	31.3	0.2	33.7	
関心がある	619	29.2	40.2	36.2	32.1	39.7	19.1	26.2	0.2	47.3	
やや関心がある	575	21.9	26.6	23.0	19.7	24.7	15.0	16.7	0.3	65.2	
あまり関心がない	295	33.2	48.0	44.8	35.5	45.3	27.9	30.9	0.4	35.9	
関心がない	697	37.6	43.6	39.0	32.1	46.2	21.4	29.6	0.1	35.6	
Q2 献血経験	923	32.1	36.6	33.9	29.7	36.6	21.0	24.9	0.4	52.1	
1~9回	124	18.5	24.2	21.0	20.2	23.4	9.7	12.9	-	62.9	
10回以上											
献血した経験はない											
分からない/覚えていない											

## 血漿分画製剤使用経験者調査

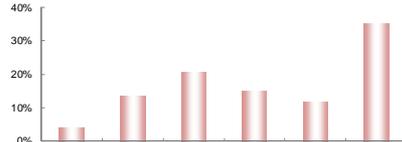


	サンプル数	説明して欲しい項目									
		血漿分画製剤とは	血漿分画製剤の投与が必要な理由	血漿分画製剤を使用しなかった場合の不利な点	代替治療(血漿分画製剤に代わる治療法)	ウイルス感染症の伝播に対する安全性	使用記録の保管が必要なこと	健康被害救済制度	その他	特にない	
全体	500	47.2	54.2	42.4	34.6	44.0	22.2	23.6	0.4	13.8	
性別	291	45.7	51.9	40.2	31.3	41.9	17.9	18.9	-	12.0	
男性	209	49.3	57.4	45.5	39.2	46.9	28.2	30.1	1.0	16.3	
女性	110	42.7	52.7	35.5	25.5	20.0	10.9	7.3	0.9	14.5	
年代	104	47.1	47.1	42.3	35.8	40.4	21.2	20.2	-	12.5	
20代	100	54.0	59.0	48.0	40.0	53.0	24.0	25.0	1.0	11.0	
30代	88	52.3	56.8	50.0	36.4	48.9	33.0	39.8	-	12.5	
40代	98	40.8	56.1	37.8	36.7	61.2	24.5	29.6	-	16.4	
50代以上	204	63.7	61.3	49.5	39.7	43.1	24.0	22.1	1.0	3.9	
F7待合室にある冊子閲覧	170	38.2	59.8	41.2	32.9	45.9	24.1	27.1	-	12.4	
見る	82	34.1	41.5	40.2	32.9	48.8	18.3	23.2	-	28.0	
あまり見ない	44	29.5	27.3	18.2	20.5	31.8	13.6	18.2	-	38.6	
見ない	222	60.4	58.1	46.8	38.3	44.1	23.4	22.1	0.9	9.0	
Q1 献血への関心	153	37.3	56.9	39.9	30.7	39.9	19.0	20.3	-	11.8	
関心がある	78	34.6	44.9	41.0	37.2	47.4	20.5	30.8	-	20.5	
やや関心がある	47	38.3	42.6	31.9	25.5	51.1	29.8	29.8	-	31.9	
あまり関心がない	135	57.8	56.3	43.0	45.2	43.0	26.1	29.6	0.7	11.9	
関心がない	273	42.2	52.4	40.3	30.4	37.7	17.2	16.8	0.4	11.7	
Q2 献血経験	83	44.6	59.0	43.4	37.3	62.7	30.1	36.1	-	24.1	
1~9回	9	33.3	33.3	55.6	11.1	44.4	11.1	22.2	-	11.1	
10回以上	64	64.1	54.7	34.4	42.2	35.9	25.0	28.1	-	4.7	
献血した経験はない	154	54.5	60.4	49.4	36.4	42.9	18.2	18.8	0.6	5.2	
分からない/覚えていない	63	71.4	82.5	66.7	55.6	71.4	38.1	46.0	1.6	4.8	
Q16. インフォームド・コンセントの満足度	19	36.8	26.3	10.5	21.1	21.1	21.1	15.8	-	42.1	
満足している	215	66.0	66.5	50.7	43.7	47.9	27.9	27.9	0.5	4.2	
どちらともいえない/満足していない	85	41.2	49.4	38.8	32.9	41.2	14.1	22.4	1.2	15.3	

# Q19. インフォームド・コンセントにかけて欲しい時間

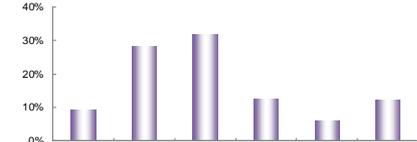
- 全体 : インフォームド・コンセントにかけてほしい時間は、「わからない」を除き、「10分～20分未満」が最多回答であった。平均は一般生活者では11.5分、血漿分画製剤使用経験者では12.3分であった。
- 冊子閲覧 : 一般生活者で冊子を『見ない』人は「わからない」が53.0%と全体の半数以上を占めた。血漿分画製剤使用経験者で冊子を『見ない』人でも「わからない」は22.7%で、これは全体より10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 一般生活者で献血への『関心がない』人も「わからない」が50.6%と全体の半数に上った。血漿分画製剤使用経験者で献血への『関心がない』人でも「わからない」は25.5%と4人に1人を占め、全体と比較して10ポイント以上高かった。

## 一般生活者調査



	サンプル数	5分未満	5分～10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分以上	わからない	平均
全体	2,000	4.2	13.6	20.6	14.9	11.7	35.2	11.5
性別								
男性	1,000	4.8	14.0	21.3	13.3	8.9	37.7	10.5
女性	1,000	3.5	13.1	19.8	16.4	14.5	32.7	12.6
年代								
20代	400	5.5	14.8	22.5	11.0	8.3	38.0	10.0
30代	400	5.3	15.0	19.8	13.0	11.3	35.8	11.0
40代	400	4.8	13.8	21.0	10.8	9.3	40.5	9.9
50代	400	3.0	11.8	22.3	17.5	16.3	29.3	13.6
60代以上	400	2.3	12.5	17.3	22.0	13.5	32.5	13.2
F7 待合室にある冊子閲覧								
見る	183	4.4	16.4	26.8	22.4	14.8	15.3	15.5
とどき見る	641	3.6	14.5	25.9	18.6	13.6	23.9	13.9
あまり見ない	566	4.1	14.7	20.0	14.7	11.3	35.3	11.4
見ない	610	4.8	10.7	13.6	8.9	9.2	53.0	8.1
Q1 献血への関心								
関心がある	295	4.7	17.3	21.7	23.1	15.9	17.3	15.3
やや関心がある	511	2.9	17.6	26.6	16.8	13.9	22.1	13.8
あまり関心がない	619	4.0	11.5	20.2	14.4	9.7	40.2	10.6
関心がない	575	5.0	10.3	15.0	9.4	9.7	50.6	8.5
10回以上	295	2.7	12.1	21.9	19.1	15.2	28.9	13.7
1～9回	697	5.7	18.2	25.4	16.1	12.5	24.1	13.1
献血した経験はない	923	3.3	13.1	17.6	13.7	10.6	41.8	10.4
分からない/覚えていない	124	4.8	4.8	12.9	8.1	8.1	61.3	7.0

## 血漿分画製剤使用経験者調査

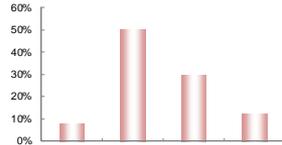


	サンプル数	5分未満	5分～10分未満	10分～20分未満	20分～30分未満	30分以上	わからない	平均
全体	500	9.4	28.2	31.8	12.4	8.0	12.2	12.3
性別								
男性	291	8.6	32.3	30.9	11.3	5.2	11.7	11.9
女性	209	10.5	22.5	33.0	13.9	7.2	12.9	12.8
年代								
20代	110	14.5	27.3	32.7	10.0	4.5	10.9	11.6
30代	104	4.8	38.5	33.7	11.5	5.8	5.8	12.8
40代	100	5.0	26.0	37.0	14.0	5.0	13.0	12.8
50代	88	10.2	26.1	27.3	14.8	5.7	15.9	12.0
60代以上	98	12.2	22.4	27.6	12.2	9.2	16.3	12.2
F7 待合室にある冊子閲覧								
見る	204	11.3	30.4	35.3	11.8	6.4	4.9	13.0
とどき見る	170	7.6	29.2	30.6	16.5	4.1	12.9	12.4
あまり見ない	82	4.9	29.3	29.3	11.0	2.4	23.2	10.3
見ない	44	15.9	15.9	25.0	2.3	18.2	22.7	11.8
Q1 献血への関心								
関心がある	222	12.2	28.4	30.6	13.5	7.7	7.7	13.0
やや関心がある	153	7.2	29.4	37.9	12.4	3.3	9.8	12.3
あまり関心がない	78	9.0	21.8	32.1	12.8	2.6	21.8	10.9
関心がない	47	4.3	34.0	17.0	6.4	12.8	25.5	10.7
10回以上	135	16.3	23.0	27.4	15.6	9.6	8.1	13.4
1～9回	273	7.3	31.1	37.0	9.9	5.5	9.2	12.4
献血した経験はない	83	4.8	26.5	21.7	15.7	2.4	28.9	10.1
分からない/覚えていない	9	11.1	33.3	33.3	11.1	-	11.1	10.8
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間								
5分未満	64	39.1	39.1	12.5	3.1	1.6	4.7	8.0
5分～10分未満	154	3.9	42.9	37.7	8.4	1.3	5.8	11.6
10分以上	63	-	12.7	47.6	20.6	15.9	3.2	18.0
分からない/覚えていない	19	5.3	15.8	21.1	21.1	-	36.8	9.9
Q16 インフォームド・コンセントの満足度								
満足している	115	11.2	39.8	34.4	11.6	4.7	2.3	12.7
どちらともいえない/満足していない	85	9.4	29.4	30.6	8.2	3.5	18.8	10.4

# Q20-1. 血漿分画製剤の安全性対策理解度

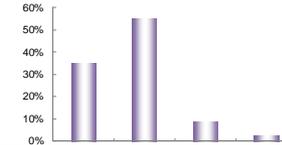
- 全体 : 資料を呈示した上で、血漿分画製剤の安全性対策に対する理解度をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の“理解計”で見ると、一般生活者の58.1%、血漿分画製剤使用経験者の89.4%が理解できたと回答している。
- 冊子閲覧 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者いずれも、冊子を『見る』人は安全性対策について、「理解できた」がそれぞれの全体より10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血に『関心がある』人は一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、安全性対策について、「理解できた」がそれぞれの全体と比べて10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	理解計
全体	2,000	7.9	50.2	29.7	12.3	58.1
性別						
男性	1,000	8.3	49.8	29.7	12.2	58.1
女性	1,000	7.5	50.6	29.6	12.3	58.1
年代						
20代	400	9.0	47.0	28.3	17.8	56.0
30代	400	8.3	51.5	25.8	14.5	59.8
40代	400	7.5	45.5	34.5	12.5	53.0
50代	400	6.5	55.0	29.5	9.0	61.5
60代以上	400	8.3	52.0	32.3	7.5	60.3
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	183	22.4	49.7	20.8	7.1	72.1
とどき見る	641	8.4	58.3	25.9	7.3	66.7
あまり見ない	566	4.8	52.8	32.2	10.2	57.6
見ない	610	5.9	39.3	33.9	20.8	45.2
Q1 献血への関心						
関心がある	295	23.4	54.9	16.3	5.4	78.3
やや関心がある	511	5.9	62.0	26.8	5.3	67.9
あまり関心がない	619	3.6	50.4	34.6	11.5	54.0
関心がない	575	6.4	37.0	33.7	22.8	43.4
Q2 献血経験						
10回以上	295	15.2	56.3	22.7	5.9	71.5
1~9回	697	9.0	55.7	28.6	6.7	64.7
献血した経験はない	923	5.1	47.5	30.9	16.6	52.6
分からない/覚えていない	124	7.3	27.4	41.1	24.2	34.7

## 血漿分画製剤使用経験者調査



	サンプル数	理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	理解計
全体	500	34.8	54.6	8.4	2.2	89.4
性別						
男性	291	34.7	55.0	8.2	2.1	89.7
女性	209	34.9	54.1	8.6	2.4	89.0
年代						
20代	110	45.5	42.7	9.1	2.7	88.2
30代	104	32.7	53.8	10.6	2.9	86.5
40代	100	30.0	64.0	6.0	-	94.0
50代	88	36.4	54.5	5.7	3.4	90.9
60代以上	98	28.6	59.2	10.2	2.0	87.8
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	204	50.5	46.1	2.0	1.5	96.6
とどき見る	170	22.4	68.8	6.5	2.4	91.2
あまり見ない	82	22.0	52.4	24.4	1.2	74.4
見ない	44	34.1	43.2	15.9	6.8	77.3
Q1 献血への関心						
関心がある	222	49.5	45.9	3.6	0.9	95.4
やや関心がある	153	26.1	64.7	7.8	1.3	90.8
あまり関心がない	78	15.4	65.4	15.4	3.8	80.8
関心がない	47	25.5	44.7	21.3	8.5	70.2
Q2 献血経験						
10回以上	135	45.2	48.1	3.7	3.0	93.3
1~9回	273	33.7	54.9	10.3	1.1	88.6
献血した経験はない	83	21.7	63.9	9.6	4.8	85.6
分からない/覚えていない	9	33.3	55.6	11.1	-	88.9
5分未満	64	54.7	45.3	-	-	100.0
5分~10分未満	154	44.8	50.0	4.5	0.6	94.8
10分以上	63	42.9	55.6	1.6	-	98.4
分からない/覚えていない	19	21.1	52.6	15.8	10.5	73.7
Q16.インフォームド・コンセントの満足度						
満足した	215	51.2	47.0	1.9	-	98.2
どちらともいえない/満足していない	85	29.4	58.8	8.2	3.5	88.2

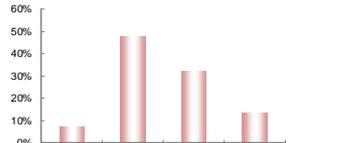
■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

※ 資料②は、巻末(p.60)に掲載しています。

# Q20-2. 血漿分画製剤独自の安全性対策理解度

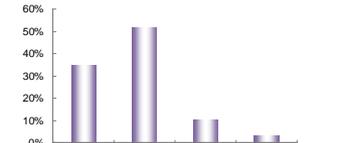
- 全体 : 資料を呈示した上で、血漿分画製剤独自の安全性対策の理解度をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の「理解計」で見ると、一般生活者の54.8%、血漿分画製剤使用経験者の86.4%が理解できたと回答している。
- 冊子閲覧 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者いずれも、冊子を『見る』人は血漿分画製剤独自の安全性対策について、「理解できた」が全体と比べて10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血に『関心がある』人は一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、血漿分画製剤独自の安全性対策について、「理解できた」がそれぞれの全体と比べて10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	理解計
全体	2,000	6.9	47.9	32.0	13.2	54.8
性別						
男性	1,000	7.3	47.4	31.9	13.4	54.7
女性	1,000	6.5	48.4	32.1	13.0	54.9
年代						
20代	400	7.5	45.0	28.3	19.3	52.5
30代	400	6.8	48.3	29.8	15.3	55.1
40代	400	7.3	43.8	35.3	13.8	51.1
50代	400	6.3	52.0	32.0	9.8	58.3
60代以上	400	6.8	50.5	34.8	8.0	57.3
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	183	24.0	45.4	23.0	7.7	69.4
とどきを見る	641	6.6	56.3	29.0	8.1	62.9
あまり見ない	566	3.7	48.9	36.2	11.1	52.6
見ない	610	5.1	38.9	33.9	22.1	44.0
Q1 献血への関心						
関心がある	295	22.4	53.6	18.6	5.4	76.0
やや関心がある	511	4.7	60.5	28.2	6.7	65.2
あまり関心がない	619	2.7	45.9	39.3	12.1	48.6
関心がない	575	5.4	36.0	34.4	24.2	41.4
Q2 献血経験						
10回以上	295	15.2	57.4	21.5	5.9	72.6
1~9回	697	8.0	52.4	32.0	7.6	60.4
献血した経験はない	923	3.9	45.0	33.4	17.8	48.9
分からない/覚えていない	124	5.6	25.0	43.5	25.8	30.6

## 血漿分画製剤使用経験者調査



	サンプル数	理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	理解計
全体	500	34.6	51.8	10.4	3.2	86.4
性別						
男性	291	33.0	53.3	10.7	3.1	86.3
女性	209	36.8	49.8	10.0	3.3	86.6
年代						
20代	110	48.2	39.1	9.1	3.6	87.3
30代	104	34.6	41.3	18.3	5.8	75.9
40代	100	29.0	63.0	7.0	1.0	92.0
50代	88	35.2	55.7	4.5	4.5	90.9
60代以上	98	24.5	62.2	12.2	1.0	86.7
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	204	47.5	44.8	5.9	2.0	92.1
とどきを見る	170	25.9	62.9	8.2	2.9	88.8
あまり見ない	82	23.2	48.8	23.2	4.9	72.0
見ない	44	29.5	47.7	15.9	6.8	77.2
Q1 献血への関心						
関心がある	222	47.3	45.5	5.9	1.4	92.8
やや関心がある	153	28.8	58.8	9.2	3.3	87.6
あまり関心がない	78	16.7	56.4	21.8	5.1	73.1
関心がない	47	23.4	51.1	17.0	8.5	74.5
Q2 献血経験						
10回以上	135	43.7	46.1	4.4	3.7	91.8
1~9回	273	34.4	51.8	11.4	2.6	86.0
献血した経験はない	83	20.5	59.0	15.7	4.8	79.5
分からない/覚えていない	9	33.3	44.4	22.2	-	77.7
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間						
5分未満	64	48.4	50.0	1.6	-	98.5
5分~10分未満	154	41.6	50.0	6.5	1.9	91.6
10分以上	63	39.7	55.6	4.8	-	95.3
分からない/覚えていない	19	21.1	47.4	21.1	10.5	68.5
Q16 インフォームド・コンセントの満足度						
満足している	215	48.8	46.5	4.7	9.3	95.3
どちらともいえない/満足していない	85	22.4	62.4	9.4	5.9	84.8

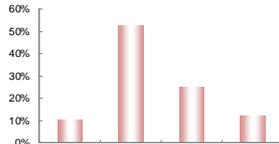
■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

※ 資料②は、巻末(p.60)に掲載しています。

# Q21. 血漿分画製剤を必要とする難病患者への理解度

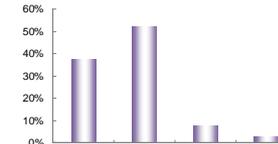
- 全体 : 資料を呈示した上で、血漿分画製剤を必要とする難病患者への理解度をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の「理解計」は一般生活者の62.8%、血漿分画製剤使用経験者の89.6%であった。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人は一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、難病患者への理解について、「理解できた」がそれぞれの全体と比べて10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』人は一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、難病患者への理解について、「理解できた」がそれぞれの全体と比べて10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	理解計				理解計 (%)
		理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	
全体	2,000	10.3	52.5	25.1	12.2	62.8
性別	1,000	9.8	49.4	28.2	12.6	59.2
男性	1,000	10.8	55.5	21.9	11.8	66.3
女性	400	12.5	48.3	22.5	16.8	60.8
年代	400	10.8	51.0	25.5	12.8	61.8
20代	400	11.0	45.8	29.0	14.3	56.8
30代	400	7.0	61.3	22.5	9.3	68.3
40代	400	10.3	56.0	25.8	8.0	66.3
50代	400	10.3	49.2	17.5	7.1	75.4
60代以上	183	26.2	49.2	17.5	7.1	75.4
F7 待合室にある冊子閲覧	641	12.2	60.1	20.7	7.0	72.3
見る	566	7.1	53.0	29.0	11.0	60.1
とまどき見る	610	6.6	44.9	28.2	20.3	51.5
あまり見ない	295	25.8	54.6	14.9	4.7	80.4
見ない	511	8.6	63.4	22.1	5.9	72.0
Q1 献血への関心	619	7.1	53.5	28.4	11.0	60.6
関心がある	575	7.3	40.9	29.2	23.0	47.8
やや関心がある	295	16.8	59.2	18.8	6.3	75.0
あまり関心がない	697	13.3	54.5	24.1	8.0	67.8
関心がない	923	6.5	52.0	26.1	15.4	58.5
Q2 献血経験	124	8.1	32.3	35.5	24.2	40.4
10回以上						
1~9回						
献血した経験はない						
分からない/覚えていない						

## 血漿分画製剤使用経験者調査



	サンプル数	理解計				理解計 (%)
		理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	
全体	500	37.6	52.0	7.8	2.6	89.6
性別	291	35.4	56.0	6.2	2.4	91.4
男性	209	40.7	46.4	10.0	2.9	87.1
女性	110	46.4	40.0	10.0	3.6	86.4
年代	104	34.6	49.0	13.5	2.9	83.6
20代	100	35.0	61.0	4.0	-	96.0
30代	88	46.6	45.5	3.4	4.5	92.1
40代	98	25.5	65.3	7.1	2.0	90.8
50代	204	52.5	41.2	4.4	2.0	93.7
60代以上	170	30.6	59.2	8.8	2.4	88.8
F7 待合室にある冊子閲覧	82	22.0	64.6	12.2	1.2	86.6
見る	44	25.0	54.5	11.4	9.1	79.5
とまどき見る	222	54.1	39.2	5.4	1.4	93.3
あまり見ない	153	26.1	63.4	9.8	0.7	89.5
見ない	78	19.2	64.1	12.8	3.8	83.3
Q1 献血への関心	47	27.7	55.3	4.3	12.8	83.0
関心がある	135	51.1	42.2	3.7	3.0	93.3
やや関心がある	273	34.4	53.5	10.6	1.5	87.9
あまり関心がない	83	28.9	60.2	4.8	6.0	89.1
関心がない	9	11.1	77.8	11.1	-	88.9
Q2 献血経験	64	51.6	43.8	4.7	-	95.4
10回以上	154	45.5	50.0	3.9	0.6	95.5
1~9回	63	58.7	36.5	4.8	-	95.2
献血した経験はない	19	26.3	57.9	5.3	10.5	84.2
分からない/覚えていない	215	58.1	38.6	3.3	9.6	96.7
Q16.インフォームド・コンセントの満足度	85	23.5	69.9	7.1	3.5	89.4
満足した						
どちらともいえない/満足していない						

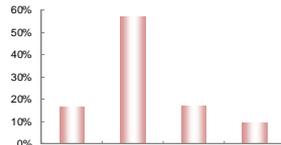
■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

※ 資料③は、巻末(p.61)に掲載しています。

# Q22. 血漿分画製剤の感染リスクの理解度

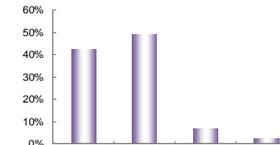
- 全体 : 資料を呈示した上で、血漿分画製剤の感染リスクの理解度をたずねたところ、「理解できた」+「ある程度理解できた」の“理解計”で見ると、一般生活者の73.6%、血漿分画製剤使用経験者の91.2%が理解できたと回答している。
- 年代 : 『20代』で見ると、一般生活者で感染リスクについて「理解できた」は19.8%に過ぎなかったが、血漿分画製剤使用経験者では50.9%が「理解できた」と回答しており、これは全体と比較しても5ポイント以上高い。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』人は一般生活者、血漿分画製剤使用経験者とも、感染リスクについて、「理解できた」と回答した人が全体と比べて10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	理解計				理解計 (%)
		理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	
全体	2,000	16.5	57.1	17.1	9.4	73.6
性別	1,000	15.8	54.8	19.4	10.0	70.6
男性	1,000	17.1	58.3	14.8	8.8	76.4
女性	400	19.8	49.0	16.8	14.5	68.8
年代	400	15.8	54.5	19.5	10.3	70.3
20代	400	13.8	56.3	19.8	10.3	70.1
30代	400	14.3	65.3	13.8	6.8	79.6
40代	400	18.8	60.3	15.8	5.3	79.1
50代	400	18.8	50.3	9.8	8.2	82.0
60代以上	183	31.7	50.3	12.2	4.5	83.3
F7 待合室にある冊子閲覧	641	19.3	64.0	12.2	4.5	83.3
見る	566	13.1	58.0	20.8	7.1	72.1
とどきを見る	610	12.0	50.0	21.0	17.0	62.0
あまり見ない	295	32.2	55.6	8.5	3.7	87.8
見ない	511	15.3	67.5	13.5	3.7	82.8
Q1 献血への関心	619	12.1	58.8	22.1	6.9	70.9
関心がある	575	14.1	46.6	19.3	20.0	60.7
やや関心がある	295	23.0	59.4	12.9	4.7	82.4
あまり関心がない	697	20.1	58.1	15.8	6.0	78.2
関心がない	923	12.8	57.4	17.9	11.9	70.2
Q2 献血経験	124	9.7	43.5	27.4	19.4	53.2
10回以上						
1~9回						
献血した経験はない						
分からない/覚えていない						

## 血漿分画製剤使用経験者調査



	サンプル数	理解計				理解計 (%)
		理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった	
全体	500	42.4	49.8	6.4	2.4	91.2
性別	291	40.2	49.8	7.6	2.4	90.0
男性	209	45.5	47.4	4.8	2.4	92.9
女性	110	50.9	37.3	9.1	2.7	88.2
年代	104	37.5	51.9	8.7	1.9	89.4
20代	100	43.0	51.0	5.0	1.0	94.0
30代	88	48.9	40.9	6.8	3.4	89.8
40代	98	31.6	63.3	2.0	3.1	94.9
50代	204	57.8	37.3	3.4	1.5	95.1
60代以上	170	34.7	55.9	7.6	1.8	90.6
F7 待合室にある冊子閲覧	82	25.6	61.0	9.8	3.7	86.6
見る	44	31.8	52.3	9.1	6.8	84.1
とどきを見る	222	56.8	38.3	3.6	1.4	95.1
あまり見ない	153	31.4	61.4	5.9	1.3	92.8
見ない	78	25.6	55.1	15.4	3.8	80.7
Q1 献血への関心	47	38.3	46.8	6.4	8.5	85.1
関心がある	222	56.8	38.3	3.6	2.2	94.1
やや関心がある	153	31.4	61.4	5.9	1.3	92.8
あまり関心がない	78	25.6	55.1	15.4	3.8	80.7
関心がない	47	38.3	46.8	6.4	8.5	85.1
Q2 献血経験	135	54.8	39.3	3.7	2.2	94.1
10回以上	273	38.9	50.5	8.9	1.8	89.3
1~9回	83	36.1	55.4	3.6	4.8	91.5
献血した経験はない	9	22.2	77.8	-	-	100.0
分からない/覚えていない	64	59.4	39.1	1.6	-	98.5
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間	154	46.8	48.1	3.9	1.3	94.9
5分未満	63	57.1	41.3	1.6	-	98.4
5分~10分未満	19	36.8	47.4	10.5	5.3	84.2
10分以上	215	59.1	39.5	1.4	-	98.6
Q16 インフォームド・コンセントの満足度	85	30.6	57.6	8.2	3.5	88.2
満足している						
どちらともいえない/満足していない						

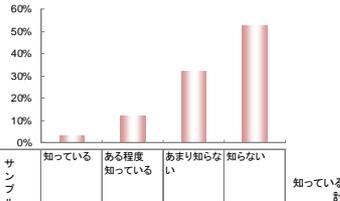
■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

※ 資料④は、巻末(p.62)に掲載しています。

# Q23. 血漿分画製剤を生涯使用する患者についての認知

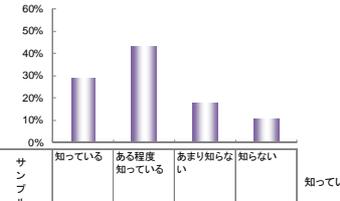
- 全体 : 血漿分画製剤を生涯使用する患者についての認知度をたずねたところ、「知っている」+「ある程度知っている」の“知っている計”でみると、一般生活者の15.1%、血漿分画製剤使用経験者の72.0%が知っていると回答している。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』一般生活者は、「知っている」、「ある程度知っている」が全体と比べて10ポイント以上高いが、冊子を『見ない』人の67.7%は、「知らない」と回答している。血漿分画製剤使用経験者でも冊子を『見る』人は、「知っている」が全体より10ポイント以上高い。
- 献血への関心 : 一般生活者で献血への『関心がない』人は、71.1%が「知らない」と回答している。

## 一般生活者調査



	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計
全体	2,000	3.0	12.1	32.1	52.9	15.1
性別						
男性	1,000	3.0	12.7	33.5	50.8	15.7
女性	1,000	3.0	11.4	30.7	54.9	14.4
年代						
20代	400	3.8	11.8	28.0	56.5	15.6
30代	400	3.5	10.5	28.5	57.5	14.0
40代	400	3.8	7.5	32.5	56.3	11.3
50代	400	1.8	12.8	37.8	47.8	14.6
60代以上	400	2.3	17.8	33.8	46.3	20.1
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	183	13.1	25.1	38.6	38.2	38.2
とまどき見る	641	2.3	16.2	38.2	45.2	18.5
あまり見ない	568	1.8	10.1	37.5	50.7	11.9
見ない	610	1.8	5.6	24.9	67.7	7.4
Q1 献血への関心						
関心がある	295	12.9	21.0	27.1	39.0	33.9
やや関心がある	511	1.0	18.4	37.2	43.4	19.4
あまり関心がない	619	1.1	8.1	40.5	50.2	9.2
関心がない	575	1.7	6.1	21.0	71.1	7.8
Q2 献血経験						
10回以上	256	9.4	18.4	34.8	37.5	27.8
1~9回	697	3.2	16.4	34.4	46.1	19.6
献血した経験はない	923	1.5	7.7	29.7	61.1	9.2
分からない/覚えていない	124	-	7.3	31.5	61.3	7.3

## 血漿分画製剤使用経験者調査

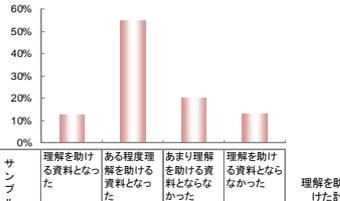


	サンプル数	知っている	ある程度知っている	あまり知らない	知らない	知っている計
全体	500	28.8	43.2	17.6	10.4	72.0
性別						
男性	291	30.6	43.0	17.5	8.9	73.6
女性	209	26.3	43.5	17.7	12.4	69.8
年代						
20代	110	39.1	43.6	12.7	4.5	82.7
30代	104	26.9	49.0	17.3	6.7	75.9
40代	100	31.0	48.0	12.0	9.0	79.0
50代	88	29.5	37.5	21.6	11.4	67.0
60代以上	98	16.3	36.7	25.5	21.4	53.0
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	204	45.1	41.2	9.8	3.9	86.3
とまどき見る	170	18.8	52.4	18.8	10.0	71.2
あまり見ない	82	11.0	37.8	30.5	20.7	48.8
見ない	44	25.0	27.3	25.0	22.7	52.3
Q1 献血への関心						
関心がある	222	47.3	35.6	11.3	5.9	82.9
やや関心がある	153	19.0	58.2	17.0	5.9	77.2
あまり関心がない	78	6.4	44.9	30.8	17.9	51.3
関心がない	47	10.6	27.7	27.7	34.0	38.3
Q2 献血経験						
10回以上	135	45.9	31.1	11.9	11.1	77.0
1~9回	273	24.9	50.2	18.3	6.5	75.1
献血した経験はない	83	12.0	41.0	24.1	22.9	53.0
分からない/覚えていない	9	44.4	33.3	22.2	-	77.7
Q11.インフォームド・コンセントの説明時間						
5分未満	64	46.9	34.4	7.8	10.9	81.3
5分~10分未満	154	36.4	46.8	12.3	4.5	83.2
10分以上	63	46.0	41.3	11.1	1.6	87.3
分からない/覚えていない	19	21.1	42.1	21.1	15.8	63.2
Q16.インフォームド・コンセントの満足度						
満足した	215	46.5	37.7	11.2	4.7	84.2
どちらともいえない/満足していない	85	22.4	59.3	12.9	9.4	77.7

# Q24. インフォームド・コンセント説明用資料有用度

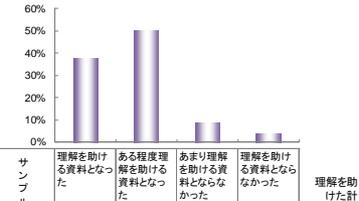
- 全体 : 説明用資料の有用度をたずねたところ、「理解を助ける資料となった」+「ある程度理解を助ける資料となった」の「理解の助け計」で見ると、一般生活者の67.6%、血漿分画製剤使用経験者の87.8%が理解を助けたと回答した。
- 年代 : 一般生活者では『50代』で「ある程度理解を助ける資料となった」が全体と比べて5ポイント以上高かった。血漿分画製剤使用経験者では『20代』の50.9%が「理解を助けた」と回答し、全体より10ポイント以上高かった。
- 冊子閲覧 : 一般生活者、血漿分画製剤使用経験者いずれも、冊子を『見る』人は「理解を助ける資料となった」の回答がそれぞれの全体と比べて10ポイント以上高く、『見ない』人は「理解を助ける資料とならなかった」の回答が全体と比べて高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	理解を助ける資料となった	ある程度理解を助ける資料となった	あまり理解を助ける資料とらなかった	理解を助ける資料とならなかった	理解を助けた計
性別						
全体	2,000	12.6	55.0	19.8	12.8	67.6
男性	1,000	13.4	51.8	20.5	14.3	65.2
女性	1,000	11.7	58.1	19.0	11.2	69.8
年代						
20代	400	13.3	51.8	18.3	16.8	65.1
30代	400	12.8	54.0	17.3	16.0	66.8
40代	400	12.0	49.5	24.5	14.0	61.5
50代	400	9.8	61.0	20.0	9.3	70.8
60代以上	400	15.0	58.5	18.8	7.8	73.5
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	183	27.9	49.2	14.2	8.7	77.1
ときどき見る	641	14.7	62.8	16.5	5.9	77.6
あまり見ない	566	10.4	58.3	21.0	10.2	68.7
見ない	610	7.7	45.2	23.6	23.4	52.9
Q1 献血への関心						
関心がある	295	33.9	51.9	10.2	4.1	85.8
やや関心がある	511	12.1	67.1	14.1	6.7	79.2
あまり関心がない	619	8.4	57.4	24.4	9.9	65.8
関心がない	575	6.4	43.1	24.7	25.7	49.5
Q2 献血経験						
10回以上	256	24.2	55.5	13.7	6.6	79.7
1~9回	697	14.8	58.4	18.4	8.5	73.2
献血した経験はない	923	8.3	54.5	22.2	15.0	62.8
分からない/覚えていない	124	7.3	37.9	21.8	33.1	45.2

## 血漿分画製剤使用経験者調査



	サンプル数	理解を助ける資料となった	ある程度理解を助ける資料となった	あまり理解を助ける資料とらなかった	理解を助ける資料とならなかった	理解を助けた計
性別						
全体	500	37.6	50.2	8.4	3.8	87.8
男性	291	36.1	51.9	8.6	3.4	88.0
女性	209	39.7	47.8	8.1	4.3	87.5
年代						
20代	110	50.9	32.7	10.0	6.4	83.6
30代	104	34.6	54.8	6.7	3.8	89.4
40代	100	36.0	57.0	6.0	1.0	93.0
50代	88	36.4	50.0	10.2	3.4	86.4
60代以上	98	23.6	58.2	9.2	4.1	86.8
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	170	56.5	42.8	2.9	2.0	95.1
ときどき見る	170	32.9	55.3	7.6	4.1	88.2
あまり見ない	82	17.1	63.4	17.1	2.4	80.5
見ない	44	25.0	40.9	20.5	13.8	65.9
Q1 献血への関心						
関心がある	222	54.1	43.2	1.4	1.4	97.3
やや関心がある	153	28.1	59.5	9.2	3.3	87.6
あまり関心がない	78	16.7	51.3	24.4	7.7	68.0
関心がない	47	25.5	51.1	12.8	10.6	76.6
Q2 献血経験						
10回以上	126	51.9	43.0	3.0	2.2	94.9
1~9回	273	35.2	49.8	12.8	2.2	85.0
献血した経験はない	83	25.3	61.4	3.6	9.6	86.7
分からない/覚えていない	9	11.1	66.7	-	22.2	77.8
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間						
5分未満	64	57.8	39.1	3.1	-	96.9
5分~10分未満	154	42.2	51.9	4.5	1.3	94.1
10分以上	63	54.0	42.9	3.2	-	96.9
分からない/覚えていない	19	31.6	47.4	15.8	5.3	79.0
Q16 インフォームド・コンセントの満足度						
満足した	215	54.9	42.8	2.3	-	97.7
どちらともいえない/満足していない	85	28.2	57.6	10.6	3.5	85.8

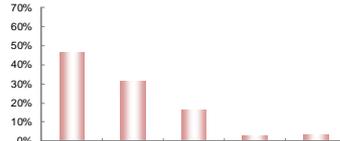
■ 全体より10ポイント以上高い ■ 全体より5ポイント以上高い ■ 全体より10ポイント以上低い

※ 資料⑤は、巻末(p.63)に掲載しています。

# Q25-1. 血漿分画製剤に望むこと(安全性への取組み継続)

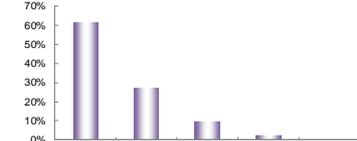
- 全体 : 血漿分画製剤の安全性への取組みを継続してほしいかをたずねたところ、「そう思う」+「ややそう思う」の“そう思う計”で見ると、一般生活者の77.7%、血漿分画製剤使用経験者の88.2%がそう思うと回答した。
- 年代 : 『60代以上』では、「そう思う」がそれぞれの全体と比べて10ポイント以上高かった。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』人は一般生活者、血漿分画製剤使用経験者いずれも「そう思う」の回答率が高かった。

## 一般生活者調査



	サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う計	
全体	2,000	46.3	31.4	18.3	2.7	3.4	77.7	
性別	男性	1,000	41.1	31.9	19.7	3.4	3.9	73.0
	女性	1,000	51.5	30.9	12.9	1.9	2.8	82.4
年代	20代	400	36.5	33.8	21.8	3.5	4.5	70.3
	30代	400	41.5	32.8	18.8	2.5	4.5	74.3
	40代	400	42.8	31.8	18.5	2.8	4.3	74.6
	50代	400	50.8	31.8	12.8	2.3	2.5	82.6
	60代以上	400	60.0	27.0	9.8	2.3	1.0	87.0
	F7 待合室にある冊子閲覧	183	60.7	27.9	6.6	2.7	2.2	88.6
Q1 献血への関心	関心がある	641	54.4	32.8	10.6	1.8	0.6	87.2
	関心がない	566	44.9	31.4	18.6	3.0	2.1	76.3
	関心がある	610	34.8	31.0	23.1	3.4	7.7	65.8
	関心がない	295	65.1	27.5	5.4	1.4	0.7	92.6
Q2 献血経験	10回以上	511	48.3	37.2	11.7	1.4	1.4	85.5
	1~9回	619	44.7	33.0	17.4	3.2	1.6	77.7
	献血した経験はない	575	36.5	26.6	24.7	3.8	8.3	63.1
	1~9回	296	53.9	31.8	11.7	1.2	1.6	85.5
Q1 インフォームド・コンセントの説明時間	5分未満	697	49.8	33.9	13.5	2.0	1.9	82.7
	5分~10分未満	923	44.9	31.0	17.6	2.7	3.9	75.9
Q2 献血経験	献血した経験はない	124	27.4	20.2	32.3	8.9	11.3	47.6
	分からない/覚えていない							

## 血漿分画製剤使用経験者調査

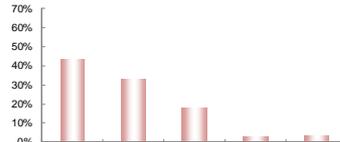


	サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う計	
全体	500	61.0	27.2	9.4	2.4	-	88.2	
性別	男性	291	57.4	29.9	10.0	2.7	-	87.3
	女性	209	66.0	23.4	8.6	1.9	-	89.4
年代	20代	110	53.6	31.8	11.8	2.7	-	85.4
	30代	104	48.1	36.5	10.6	4.8	-	84.6
	40代	100	64.0	29.0	4.0	3.0	-	93.0
	50代	88	68.2	17.0	13.6	1.1	-	85.2
	60代以上	98	73.5	19.4	7.1	-	-	92.9
	F7 待合室にある冊子閲覧	204	65.7	29.4	3.9	1.0	-	95.1
Q1 献血への関心	関心がある	170	57.6	29.4	11.8	1.2	-	87.0
	関心がない	82	57.3	24.4	12.2	6.1	-	81.7
	関心がある	44	59.1	13.8	20.5	6.8	-	72.7
	関心がない	222	70.7	23.9	5.0	0.5	-	94.6
Q2 献血経験	10回以上	153	45.1	37.3	13.1	4.6	-	82.4
	1~9回	78	57.7	26.9	12.8	2.6	-	84.6
	関心がない	47	72.3	10.6	12.8	4.3	-	82.9
	10回以上	135	76.3	17.0	6.7	-	-	93.3
Q1 インフォームド・コンセントの説明時間	5分未満	273	50.5	34.4	11.4	3.7	-	84.9
	5分~10分未満	83	71.1	18.1	8.4	2.4	-	89.2
	10分以上	9	55.6	44.4	-	-	-	100.0
	分からない/覚えていない	64	81.3	17.2	1.6	-	-	98.5
Q2 献血経験	5分未満	154	54.5	35.1	7.8	2.6	-	89.6
	5分~10分未満	63	74.6	22.2	1.6	1.6	-	96.8
	10分以上	19	78.9	10.5	10.5	-	-	89.4

# Q25-2. 血漿分画製剤に望むこと(治療への貢献)

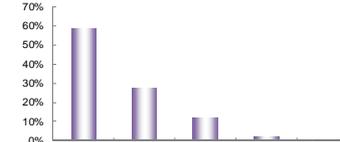
- 全体 : 血漿分画製剤に対して、治療への貢献を継続してほしいかをたずねたところ、「そう思う」+「ややそう思う」の“そう思う計”で見ると、一般生活者の76.0%、血漿分画製剤使用経験者の85.6%がそう思うと回答した。
- 年代 : 『60代以上』で「そう思う」の回答率が高く、それぞれの全体と比べて10ポイント以上高かった。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』人は治療への貢献の継続について「そう思う」が全体と比べて高かった。
- 献血経験 : 献血経験が『10回以上』の人は、「そう思う」の回答率が全体と比べて10ポイント以上高かった。

## 一般生活者調査



	サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う計
全体	2,000	43.4	32.6	17.7	2.9	3.5	76.0
性別							
男性	1,000	39.0	32.6	20.9	3.5	4.0	71.6
女性	1,000	47.7	32.6	14.5	2.2	3.0	80.3
年代							
20代	400	33.0	34.5	24.5	3.0	5.0	67.5
30代	400	39.0	33.0	20.5	2.8	4.8	72.0
40代	400	41.5	31.5	19.0	3.8	4.3	73.0
50代	400	47.8	34.0	13.0	2.8	2.5	81.8
60代以上	400	55.5	30.0	11.5	2.0	1.0	85.5
F7 待合室にある冊子閲覧							
見る	183	59.6	27.3	7.7	2.2	3.3	86.9
とどきを見る	641	49.1	36.0	12.3	1.9	0.6	85.1
あまり見ない	566	42.0	32.3	20.5	3.0	2.1	74.3
見ない	610	33.6	30.8	23.8	3.9	7.9	64.4
Q1 献血への関心							
関心がある	295	63.4	27.8	6.8	1.0	1.0	91.2
やや関心がある	511	44.4	39.7	13.1	1.4	1.4	84.1
あまり関心がない	619	41.4	33.6	19.9	3.6	1.6	75.0
関心がない	575	34.3	27.7	25.0	4.3	8.7	62.0
Q2 献血経験							
10回以上	256	54.3	30.5	12.5	1.2	1.6	84.8
1~9回	697	45.9	35.0	14.8	2.3	2.0	80.9
献血した経験はない	923	41.0	32.5	19.3	2.1	4.1	73.5
分からない/覚えていない	124	24.2	24.2	33.1	7.3	11.3	48.4

## 血漿分画製剤使用経験者調査

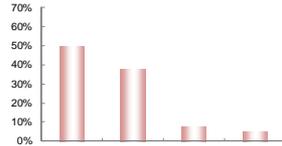


	サンプル数	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない	そう思う計
全体	500	58.4	27.2	12.0	2.0	0.4	85.6
性別							
男性	291	54.3	29.6	13.4	2.4	0.3	83.9
女性	209	64.1	23.9	10.0	1.4	0.5	88.0
年代							
20代	110	48.2	29.1	18.2	3.8	0.9	77.3
30代	104	49.0	29.8	17.3	3.8	—	78.8
40代	100	58.0	34.0	7.0	1.0	—	92.0
50代	88	69.3	18.2	10.2	1.1	—	87.5
60代以上	98	70.4	23.5	6.1	—	—	93.9
F7 待合室にある冊子閲覧							
見る	204	62.7	28.4	7.4	1.0	0.5	91.1
とどきを見る	170	57.6	28.8	12.9	0.6	—	86.4
あまり見ない	82	52.4	26.8	14.6	4.9	1.2	79.2
見ない	44	52.3	15.9	25.0	6.8	—	68.2
Q1 献血への関心							
関心がある	222	68.9	24.3	5.9	0.5	0.5	93.2
やや関心がある	153	40.5	36.6	18.3	3.9	0.7	77.1
あまり関心がない	78	60.3	23.1	15.4	1.3	—	83.4
関心がない	47	63.8	17.0	14.9	4.3	—	80.8
Q2 献血経験							
10回以上	135	70.4	22.2	6.7	0.7	—	92.6
1~9回	273	48.4	33.0	16.1	2.2	0.4	81.4
献血した経験はない	83	72.3	16.9	7.2	2.4	1.2	89.2
分からない/覚えていない	9	55.6	22.2	11.1	11.1	—	77.8
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間							
5分未満	64	71.9	21.9	4.7	1.6	—	93.8
5分~10分未満	154	53.2	34.4	10.4	1.9	—	87.6
10分以上	63	73.0	17.5	9.5	—	—	90.5
分からない/覚えていない	19	63.2	26.3	10.5	—	—	89.5

# Q26. 安全な血漿分画製剤の安定供給の重要性

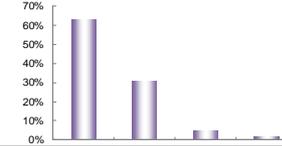
- 全体 : 安全な血漿分画製剤の安定供給の重要性をたずねたところ、「必要だと思う」+「やや必要だと思う」の“必要計”で見ると、一般生活者の87.7%、血漿分画製剤使用経験者の93.4%が必要だと回答した。
- 年代 : 『60代以上』では、「必要だと思う」がそれぞれの全体と比べて10ポイント以上高かった。
- 献血への関心 : 献血への『関心がある』人は血漿分画製剤の安定供給について、「必要だと思う」が全体と比べてそれぞれの10ポイント以上高い。
- 献血経験 : 自身の献血経験を『分からない/覚えていない』人は、「必要だと思う」の回答がそれぞれの全体と比べて10ポイント以上低かった。

## 一般生活者調査



	サンプル数	必要だと思う	やや必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない	必要計
全体	2,000	49.8	37.9	7.5	4.8	87.7
性別						
男性	1,000	47.6	37.7	9.3	5.4	85.3
女性	1,000	52.0	38.1	5.7	4.2	90.1
年代						
20代	400	38.8	42.3	10.8	8.3	81.1
30代	400	44.3	41.0	8.5	6.3	85.3
40代	400	46.5	39.3	9.3	5.0	85.8
50代	400	53.8	38.5	4.8	3.0	92.3
60代以上	400	65.8	28.5	4.3	1.5	94.3
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	183	68.3	23.0	4.9	3.8	91.3
とどきを見る	641	55.4	38.2	4.5	1.9	93.6
あまり見ない	566	48.4	40.1	9.7	1.8	88.5
見ない	610	39.7	40.0	9.3	11.0	79.7
Q1 献血への関心						
関心がある	295	75.9	21.7	1.7	0.7	97.6
やや関心がある	511	54.4	39.3	4.3	2.0	93.7
あまり関心がない	619	47.3	41.5	8.1	3.1	88.8
関心がない	575	35.0	41.0	12.7	11.3	76.0
Q2 献血経験						
10回以上	296	86.0	29.9	3.5	1.6	94.9
1~9回	697	54.4	37.0	5.9	2.7	91.4
献血した経験はない	923	44.2	41.7	8.8	5.3	85.9
分からない/覚えていない	124	32.3	33.1	15.3	19.4	65.4

## 血漿分画製剤使用経験者調査

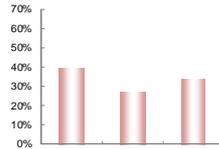


	サンプル数	必要だと思う	やや必要だと思う	あまり必要だと思わない	必要だと思わない	必要計
全体	500	62.8	30.6	5.0	1.6	93.4
性別						
男性	291	64.6	29.6	4.8	1.0	94.2
女性	209	60.3	32.1	5.3	2.4	92.4
年代						
20代	110	50.9	38.2	9.1	1.8	89.1
30代	104	53.8	40.4	3.8	1.9	94.2
40代	100	67.0	24.0	7.0	2.0	91.0
50代	88	67.0	28.4	2.3	2.3	95.4
60代以上	98	77.6	20.4	2.0	-	98.0
F7 待合室にある冊子閲覧						
見る	204	70.6	25.5	3.4	0.5	96.1
とどきを見る	170	57.6	37.6	3.5	1.2	95.2
あまり見ない	82	56.1	31.7	9.8	2.4	87.8
見ない	44	59.1	25.0	9.1	6.8	84.1
Q1 献血への関心						
関心がある	222	75.2	22.5	1.4	0.9	97.7
やや関心がある	153	48.4	41.2	9.8	0.7	89.6
あまり関心がない	78	56.4	33.3	9.0	1.3	89.7
関心がない	47	61.7	29.8	-	8.5	91.5
Q2 献血経験						
10回以上	135	78.5	19.3	1.5	0.7	97.8
1~9回	273	53.9	37.4	7.0	1.8	91.2
献血した経験はない	83	69.9	25.3	3.6	1.2	95.2
分からない/覚えていない	9	33.3	44.4	11.1	11.1	77.7
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間						
5分未満	64	81.3	15.6	1.6	1.6	96.9
5分~10分未満	154	59.7	38.3	1.9	-	98.0
10分以上	63	76.2	22.2	1.6	-	98.4
分からない/覚えていない	19	63.2	31.6	-	5.3	94.8
Q16. インフォームド・コンセントの満足度						
満足した	215	74.9	24.7	0.5	99.6	
どちらともいえない/満足していない	85	50.6	42.4	4.7	2.4	93.0

# Q27. 血漿分画製剤についての情報取得欲求

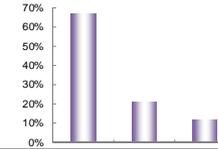
- 全体 : 血漿分画製剤についてもっと知りたいかをたずねたところ、一般生活者では39.2%、血漿分画製剤使用経験者では66.8%が「もっと知りたい」と回答した。
- 冊子閲覧 : 冊子を『見る』『ときどき見る』人は、一般生活者、血漿分画製剤使用経験者いずれも「もっと知りたい」の回答率が高かった。
- 献血への関心 : 献血への関心が高いほど「もっと知りたい」の回答率が高くなる傾向が見られる。
- 献血経験 : 献血経験が『10回以上』の人は「もっと知りたい」がそれぞれの全体と比べて10ポイント以上高い。

## 一般生活者調査



	サンプル数	もっと知りたい	知りたいとは思わない	わからない
全体	2,000	39.2	27.2	33.7
性別				
男性	1,000	37.7	32.4	29.9
女性	1,000	40.6	22.0	37.4
年代				
20代	400	35.0	36.5	28.5
30代	400	35.8	25.8	38.5
40代	400	38.5	23.8	37.8
50代	400	37.5	25.0	37.5
60代以上	400	49.0	25.0	26.0
F7 待合室にある冊子閲覧				
見る	183	65.0	20.8	14.2
ときどき見る	641	52.0	20.4	27.6
あまり見ない	566	36.0	26.0	38.0
見ない	610	20.8	37.4	41.8
Q1 献血への関心				
関心がある	295	72.5	11.9	15.6
やや関心がある	511	57.1	17.2	25.6
あまり関心がない	619	30.5	27.9	41.5
関心がない	575	15.3	43.1	41.6
Q2 献血経験				
10回以上	296	56.6	17.8	25.8
1~9回	697	47.2	24.1	28.7
献血した経験はない	923	30.7	31.1	38.2
分からない/覚えていない	124	21.0	35.5	43.5

## 血漿分画製剤使用経験者調査



	サンプル数	もっと知りたい	知りたいとは思わない	わからない
全体	500	66.8	21.4	11.8
性別				
男性	291	68.0	21.6	10.3
女性	209	65.1	21.1	13.9
年代				
20代	110	65.5	22.7	11.8
30代	104	61.5	26.9	11.5
40代	100	72.0	17.0	11.0
50代	88	76.1	17.0	6.8
60代以上	98	60.2	22.4	17.3
F7 待合室にある冊子閲覧				
見る	204	85.8	10.3	3.9
ときどき見る	170	63.5	25.9	10.6
あまり見ない	82	45.1	26.8	28.0
見ない	44	31.8	45.5	22.7
Q1 献血への関心				
関心がある	222	86.5	9.0	4.5
やや関心がある	153	55.6	34.6	9.8
あまり関心がない	78	44.9	25.6	29.5
関心がない	47	46.8	29.8	23.4
Q2 献血経験				
10回以上	135	80.0	13.3	6.7
1~9回	273	63.0	26.4	10.6
献血した経験はない	83	59.0	18.1	22.9
分からない/覚えていない	9	55.6	22.2	22.2
Q11 インフォームド・コンセントの説明時間				
5分未満	64	84.4	10.9	4.7
5分~10分未満	154	75.3	16.9	7.8
10分以上	63	79.4	19.0	1.6
分からない/覚えていない	19	63.2	15.8	21.1
Q16 インフォームド・コンセントの満足度				
満足した	215	85.1	9.8	5.1
どちらともいえない/満足していない	85	57.6	31.8	10.6

## 6.調査票

# 6.調査票 [1/6]

**F1** あなたの年齢をお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 10代以下
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代以上

**F2** あなたの性別をお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 男性
- 2. 女性

**F3** あなたの居住地をお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

**F4** あなたの婚姻状況をお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 未婚
- 2. 既婚
- 3. 離別・死別

**F5** あなたの職業をお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 学生・予備校生
- 2. 会社員・公務員・団体職員・経営者
- 3. 派遣社員・パート・アルバイト
- 4. 専業主夫・専業主婦
- 5. 無職
- 6. その他

**F6** あなたが病院へ行く頻度をお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

※上記病院とは、入院施設のある医療機関であり、診療所やクリニックは除きます。  
※お見舞い・付添等は除き、ご自身の不調で行く頻度をお答えください。

- 1. 週1回以上
- 2. 1ヶ月に2～3回程度
- 3. 1ヶ月に1回程度
- 4. 2～3ヶ月に1回程度
- 5. 半年に1回程度
- 6. 年に1回程度
- 7. 2～4年に1回程度
- 8. 5年以上行っていない・行ったことがない

**F7** あなたは病院やクリニックの待合室に置いてある疾患や治療に関するパンフレットや冊子をご覧になりますか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 見る
- 2. ときどき見る
- 3. あまり見ない
- 4. 見ない

【献血についてお伺いします】

**Q1** あなたは、献血に関心がありますか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 関心がある
- 2. やや関心がある
- 3. あまり関心がない
- 4. 関心がない

**Q2** あなたは、これまでに献血をした経験がありますか。ある方は回数をお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 10回以上
- 2. 5～9回
- 3. 4回
- 4. 3回
- 5. 2回
- 6. 1回
- 7. 献血した経験はない
- 8. 覚えていない・わからない

【血液製剤についてお伺いします】

**Q3** あなたは、「血漿分画製剤」(けっしょうぶんかくせいざい)という医薬品について聞いたことがありますか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 聞いたことがある
- 2. 聞いたことがない

**Q4** 血漿分画製剤には様々な種類がありますが、以下の中でご存知のものはありますか。(あてはまるものをいくつでも選択)

- 1. 人血清アルブミン製剤
- 2. 人免疫グロブリン製剤
- 3. 血液凝固因子製剤
- 4. その他の血漿分画製剤
- 5. わからない

# 6.調査票 [2/6]

こちらをクリックいただき資料をご覧になった上で、質問にお答えください。



Q5 資料に掲載しているように、

①「輸血用血液製剤」は、血液をそのまま(全血製剤)、あるいは赤血球などの成分を分離してつくられる(成分製剤)こと、

②「血漿分画製剤」は血液中の血漿のうち、有用な成分のみを分離・精製してつくられることを、あなたほどの程度ご存知でしたか。

(あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択)

知 っ て い る	あ る 程 度 知 っ て い る	あ ま り 知 ら な い	知 ら な い
-----------------------	---	---------------------------------	------------------

①「輸血用血液製剤」はそのまま(全血製剤)、あるいは赤血球などの成分を分離してつくられる(成分製剤)こと	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②「血漿分画製剤」は血液中の血漿のうち、有用な成分のみを分離・精製してつくられること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q6 ①「輸血用血液製剤」は出血や手術の際に血液の成分を補う目的で使用されること、②「血漿分画製剤」は、

様々な病気の治療を目的として使用されることを、あなたほどの程度ご存知でしたか。(あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択)

知 っ て い る	あ る 程 度 知 っ て い る	あ ま り 知 ら な い	知 ら な い
-----------------------	---	---------------------------------	------------------

①輸血用血液製剤は出血や手術の際に血液の成分を補う目的で使用されること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②血漿分画製剤は様々な病気の治療を目的として使用されること	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q7 あなたは、輸血用血液製剤や血漿分画製剤による治療を受けた経験はありますか。(あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択)

あ る	な い	わ か ら な い / 覚 え て い な い
--------	--------	--

①輸血用血液製剤による治療の経験	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
②血漿分画製剤による治療の経験	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q8 あなたは、血液から有用な成分のみを分離・精製してつくられる『血漿分画製剤』の安全性に対して、どのようなイメージを持っていますか。

(あてはまるものを1つ選択)

※ここでの安全性とは、ウイルス感染症の伝播に対する安全性のことであり、薬の副作用に対する安全性のことではありません。

- 1. 安全だと思う
- 2. どちらかといえば安全だと思う
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば安全だと思わない
- 5. 安全だと思わない

【ここからは、血漿分画製剤による治療の経験がある方に伺います。】

Q9 あなたが血漿分画製剤による治療を受ける際、インフォームド・コンセント(薬剤投与前に医薬品に関する説明を受け、同意の上で治療をすること)を受けましたか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. インフォームド・コンセントを受けた
- 2. インフォームド・コンセントを受けなかった
- 3. 覚えていない・わからない

# 6.調査票 [3/6]

**Q10** あなたがインフォームド・コンセントを受けた際、その内容はどの程度理解できましたか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 理解できた
- 2. まあ理解できた
- 3. あまり理解できなかった
- 4. 理解できなかった

**Q11** あなたがインフォームド・コンセントを受けた際、説明に使われた時間は、どのくらいでしたか。おおよそで結構ですでお答えください。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 5分未満
- 2. 5分～10分未満
- 3. 10分以上
- 4. 覚えていない・わからない

**Q12** あなたがインフォームド・コンセントを受けた際、説明資料や同意書はありましたか。(あてはまるものをいくつでも選択)

- 1. 説明の資料があった
- 2. 同意書があった
- 3. その他
- 4. 覚えていない・わからない

**Q13** あなたがインフォームド・コンセントを受けた際、説明された内容で記憶にあるものは何ですか。(あてはまるものをいくつでも選択)

- 1. 血漿分画製剤とは
- 2. 血漿分画製剤の投与が必要な理由
- 3. 血漿分画製剤を使用しなかった場合の不利益 ※
- 4. 代替治療(血漿分画製剤に代わる治療法)
- 5. ウイルス感染症の伝播に対する安全性
- 6. 使用記録の保管が必要なこと
- 7. 健康被害救済制度
- 8. その他
- 9. 覚えていない・わからない

※不利益:重症な状態を脱することができない、病気やケガの回復に時間を要する、等

**Q14** あなたがインフォームド・コンセントを受けた後、その内容について自ら調べましたか。以下の中からあてはまるものを選択してください。(あてはまるものをいくつでも選択)

- 1. 医学書で調べた
- 2. その病気・治療に関する書籍・雑誌で調べた
- 3. インターネットで調べた
- 4. 知人・友人に聞いた
- 5. インフォームド・コンセントをうけた病院とは別の病院(セカンドオピニオン)に行った
- 6. 看護師・薬剤師などの医療従事者に聞いた
- 7. その他
- 8. 調べていない

**Q15** あなたがインフォームド・コンセントを受けた後、その内容について自ら調べたのはなぜですか。以下の中からあてはまるものを選択してください。(あてはまるものをいくつでも選択)

- 1. もっと知りたかったから
- 2. 理解できなかったから
- 3. 不安だったから
- 4. 納得できなかったから
- 5. 質問できなかったから
- 6. その他

**Q16** インフォームド・コンセントを受けたことに対して、あなたはどの程度満足しましたか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 満足した
- 2. どちらかといえば満足した
- 3. どちらともいえない
- 4. どちらかといえば満足していない
- 5. 満足していない

**Q17** その他、お答えになった理由を記入

# 6.調査票 [4/6]

**Q18** あなたが血漿分画製剤の治療において、インフォームド・コンセントを受ける際に説明してほしい項目は何ですか。(あてはまるものをいくつでも選択)  
※血漿分画製剤の治療経験のない方は、初めて血漿分画製剤で治療することになったと仮定してお答えください。  
※インフォームド・コンセントとは、薬剤投与前に医薬品に関する説明を受け、同意の上で治療をすることです。

- 1. 血漿分画製剤とは
- 2. 血漿分画製剤の投与が必要な理由
- 3. 血漿分画製剤を使用しなかった場合の不利益 ※
- 4. 代替治療(血漿分画製剤に代わる治療法)
- 5. ウイルス感染症の伝播に対する安全性
- 6. 使用記録の保管が必要なこと
- 7. 健康被害救済制度
- 8. その他
- 9. 特になし

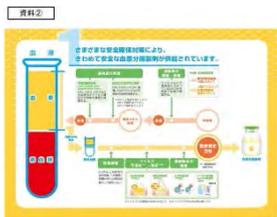
※不利益:重症な状態を脱することができない、病気やケガの回復に時間を要する、等

**Q19** あなたは、インフォームド・コンセントを受ける際、どのくらいの時間をかけて欲しいと思いますか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 5分未満
- 2. 5分～10分未満
- 3. 10分～20分未満
- 4. 20分～30分未満
- 5. 30分以上
- 6. わからない

【ここからはインフォームド・コンセントの説明用資料についてお伺いします】

こちらをクリックいただきインフォームド・コンセントの説明用資料(1ページ目)をご覧になった上で、質問にお答えください。



**Q20** 資料をご覧になって、以下の点について、どの程度理解できましたか。(あてはまるものをそれぞれ1つずつ選択)

	→	○	○	○	○
①血漿分画製剤が供給されるまでに、安全性を確保するためのさまざまな対策が設けられていること	→	○	○	○	○
②血漿分画製剤が供給されるまでに、輸血用血液製剤と共通の対策(ステップ)に加え、血漿分画製剤特有の対策も設けられていること	→	○	○	○	○

理解できた  
ある程度理解できた  
あまり理解できなかった  
理解できなかった

こちらをクリックいただきインフォームド・コンセントの説明用資料(2ページ目)をご覧になった上で、質問にお答えください。



**Q21** 資料をご覧になって、以下の点について、どの程度理解できましたか。(あてはまるものを1つ選択)

	→	○	○	○	○
血漿分画製剤は、難病や希少疾患をふくむ、さまざまな病気の治療に使われていること	→	○	○	○	○

理解できた  
ある程度理解できた  
あまり理解できなかった  
理解できなかった

# 6.調査票 [5/6]

※こちらをクリックいただきインフォームド・コンセントの説明用資料(3ページ目)をご覧になった上で、質問にお答えください。 こちらをクリックいただき資料をご覧になった上で、質問にお答えください。



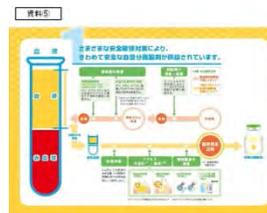
Q22 資料をご覧になって、以下の点について、どの程度理解できましたか。(あてはまるものを1つ選択)

理解できた	ある程度理解できた	あまり理解できなかった	理解できなかった
-------	-----------	-------------	----------

血漿分画製剤は、ウイルスに対する安全対策が強化されたことにより、感染のリスクは限りなくゼロに近づいていること →

Q23 あなたは、多くの難病の患者さんが血漿分画製剤以外の治療法がなく、かつ生命を維持するためには生涯にわたって血漿分画製剤を使い続けなければならないことをご存知でしたか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 知っている
- 2. ある程度知っている
- 3. あまり知らない
- 4. 知らない



Q24 上記の資料はインフォームド・コンセントの説明用資料として準備されたものですが、ご覧になって、この資料はどの程度あなたの血漿分画製剤への理解を助ける資料となりましたか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 理解を助ける資料となった
- 2. ある程度理解を助ける資料となった
- 3. あまり理解を助ける資料とならなかった
- 4. 理解を助ける資料とならなかった

Q25 あなたが血漿分画製剤について望むこととして、以下の点について最も近いものをお選びください。(それぞれあてはまるものを1つずつ選択)

	そう思う	ややそう思う	どちらともいえない	あまりそう思わない	そう思わない
安全性に対する取り組みを継続して行ってほしい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
難病・稀少疾患をふくむ治療に継続して貢献してほしい	→	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Q26 あなたは安全な血液分画製剤が不足することなく、必要とする人々に適切に提供されることは、必要なことだと思いますか。

(あてはまるものを1つ選択)

- 1. 必要だと思う
- 2. やや必要だと思う
- 3. あまり必要だと思わない
- 4. 必要だと思わない

Q27 あなたは血液分画製剤について、もっと情報を知りたいとお考えですか。(あてはまるものを1つ選択)

- 1. もっと知りたい
- 2. 知りたいとは思わない
- 3. わからない

設問の一覧を表示する

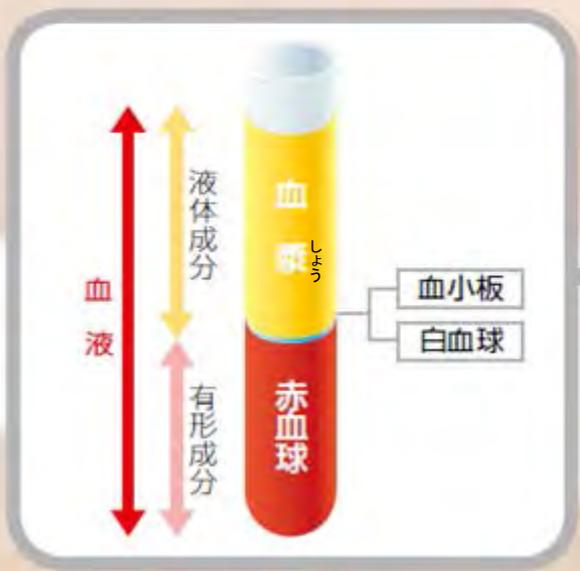
ご協力ありがとうございました。  
これでアンケートは終了です。ご回答ありがとうございました

閉じる

## 血液の有効利用

血液製剤は、患者さんの輸血に用いられる製剤と、血漿成分を精製して得られる血漿分画製剤に大別されます。

### 血液製剤の種類と主な使用目的



血漿分画製剤

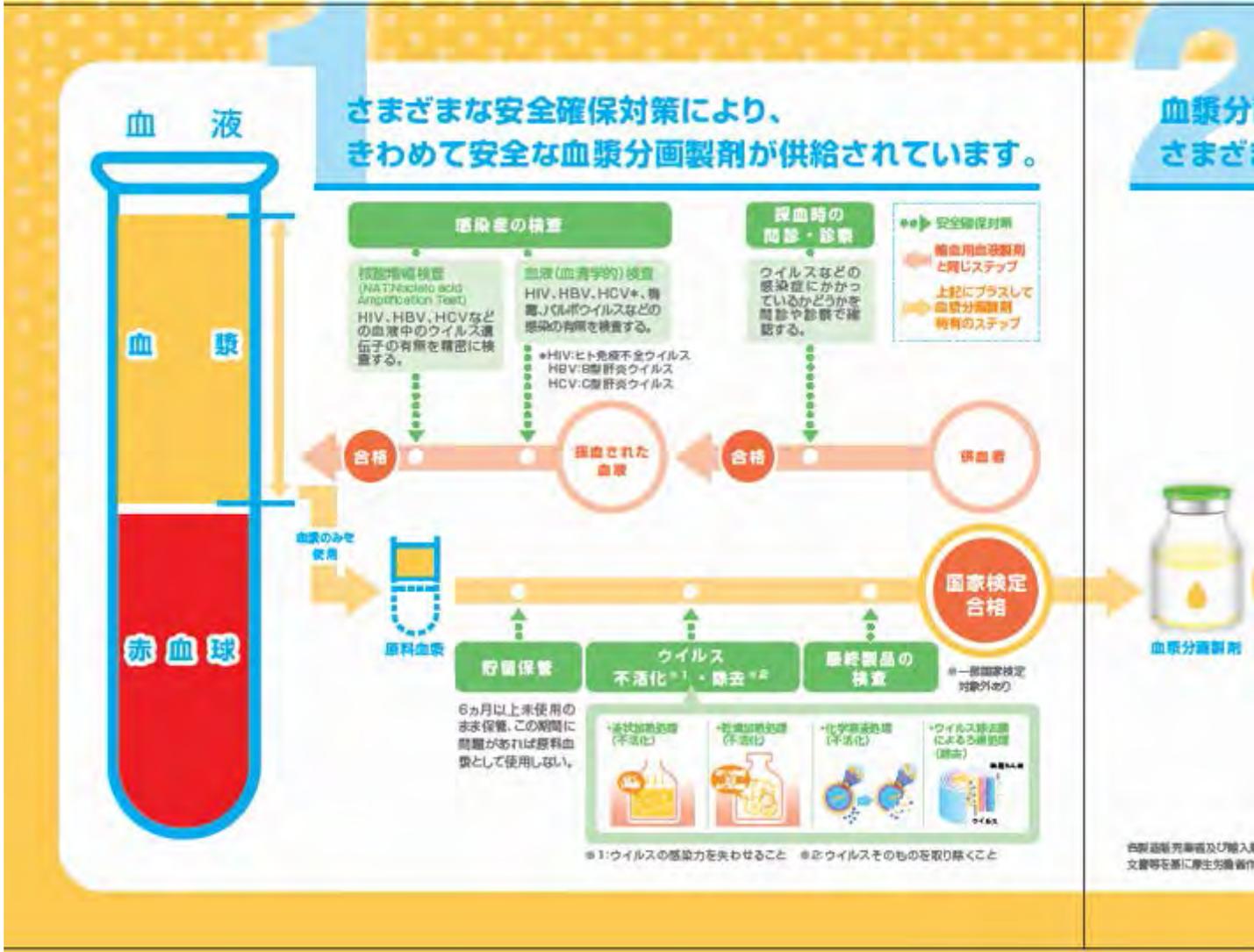
輸血用血液製剤

血漿分画製剤の種類

人血清アルブミン
乾燥人フィブリノゲン
血液凝固第Ⅶ因子
乾燥濃縮人血液凝固第Ⅸ因子
インヒビター製剤
乾燥血液凝固第Ⅹ因子
トロンピン
人免疫グロブリン
抗 HBs 人免疫グロブリン
抗 D(Rho) 人免疫グロブリン
抗破傷風人免疫グロブリン
乾燥濃縮人アンチトロンピンⅢ
乾燥濃縮人活性化プロテイン C
人ハプトグロブリン
乾燥濃縮人 C1-インアクチベーター
生理的組織接着製剤 (フィブリン糊)

成分製剤

全血製剤



色鮮やかな写真及び購入  
文書等を基に厚生労働省作

## 血漿分画製剤は、難病や希少疾患をふくむ さまざまな病気の治療に使われています。



血漿分画製剤

血漿分画製剤の種類	主な効能・効果
人血清アルブミン	熱傷、浮腫等を伴うネフローゼ症候群、肝硬変症、出血性ショック等の治療
乾燥人フィブリノゲン	先天性低フィブリノゲン血症による出血傾向の抑制
血液凝固因子	血友病A患者の第VIII因子の補充・出血傾向の抑制
乾燥凍結人血凝固因子	血友病B患者の出血傾向の抑制
インヒビター製剤	第VIII因子又は第IX因子インヒビター力価の高い患者の血液凝固活性を補い、出血傾向を抑制
乾燥血液凝固因子	先天性及び後天性凝固因子欠乏による出血傾向の抑制
トロンピン	上腸消化管出血、通常の結紮で止血困難な出血の抑制等
人免疫グロブリン	髄又は乾ガンマグロブリン血症 悪性腫瘍、麻痺、ポリオ、A型肝炎の予防及び症状の軽減 悪性腫瘍感染症、特発性血小板減少性紫斑病、川崎病等
抗HBs人免疫グロブリン	B型肝炎の発症予防（針刺し事故、母子感染予防等）
抗D (Rho) 人免疫グロブリン	Rh(-)の産婦における分娩後の抗D (Rho)抗体産生の防止等
抗破傷風人免疫グロブリン	破傷風の発症予防及び発症後の症状改善
乾燥凍結人アンチトロンピン	先天性アンチトロンピン欠乏に基づく血栓形成傾向 アンチトロンピン血症下を伴う汎発性血管内凝血症候群(DIC)
乾燥凍結人活性化プロテインC	先天性プロテインC欠乏症に起因する深部静脈血栓症等の治療
人ハプトグロビン	熱傷、腫血などの溶血反応に伴うヘモグロビン血症等の治療
乾燥凍結人C1-インアクチベーター	遺伝性血管性浮腫の急性発作の治療

血漿分画製剤及び輸入製剤の添付文書等を基に厚生労働省作成（一部改変）

## 3

現在では、血漿分画製剤による感染のリスクは、  
限りなくゼロに近づいています。

血漿分画製剤は、他の医療用医薬品と同様にごくまれに副作用や合併症が起こりますが、ウイルス感染症に対しては、平成15年に「安全な血液製剤の安定供給の確保等に関する法律」(血液法)が施行され薬事法(現医薬品医療機器等法)改正と合わせて血漿分画製剤の安全対策が強化されたことにより、それ以降HBV、HCV、HIV、HTLV-1及びヒトヒトパルボウイルスB19などの感染が確認された事例は報告されていません。

\*血液製剤由来 平成29年版(厚生労働省医薬品等血液製剤)抄録



(HBV:B型肝炎ウイルス HCV:C型肝炎ウイルス HIV:ヒト免疫不全ウイルス HTLV:ヒトT細胞白血病ウイルス)

